

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2024年度 美容師学科

	授業科目	授業時間数	内)実務経験 教員等による 授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	美容技術理論	150	150	美容師免許取得、美容実務経験	
2	運営管理	30	20	労務管理事務所を経営。経営管理、人的資源管理、マーケティング等幅広い知識を有す。	
			10	美容師免許取得、美容実務経験	
3	文化論	60	20	美容師免許取得、美容実務経験	
			40	美容師免許取得、美容実務経験	
4	衛生管理	90	30	歯科医師免許取得 歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
			30	美容師免許取得、美容実務経験	
			30	歯科医師免許取得 歯科医院勤務 歯科医師経験34年	
5	保健	90	50	歯科医師免許取得 歯科医院勤務 歯科医師経験34年	
			40	歯科医師免許取得 歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
6	デッサン	30	30	日本理容美容教育センター インストラクター24年	
実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数			450		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2024年度 ビューティスタイリスト学科 (エステティックコース)

	授業科目	授業時間数	内)実務経験 教員等による 授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ウェルネス理論Ⅰ	90	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員経験30年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
			50	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
2	ウェルネス理論Ⅱ	90	90	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
3	インナービューティー関係論Ⅰ	70	70	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
4	インナービューティー関係論Ⅱ	60	60	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
5	ビューティービジネス理論Ⅰ	50	50	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
6	ビューティービジネス理論Ⅱ	40	40	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
7	ボディエステティック理論	20	20	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員経験30年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
8	シデスコ理論	70	70	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
9	メイクアップ技術理論Ⅰ	30	30	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
10	ネイル技術理論	20	20	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
11	アロマセラピーⅠ	30	30	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロメインストラクター歴10年	
12	アロマセラピーⅡ	30	30		

15	フェイシャルエステティックⅠ	110	110	エステティックサロン及び化粧品販売に従事。アロマセラピストおよび認定エステティシャンも有する。エステティシャン歴15年。アロマインストラクター歴10年	
16	フェイシャルエステティックⅡ	150	150	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
17	ボディエステティックⅠ	90	90	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員経験30年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
18	ボディエステティックⅡ	150	150		
19	脱毛Ⅰ	40	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
20	脱毛Ⅱ	40	40		
21	ベーシックメイクアップ	60	60	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
22	ベーシックネイル	60	60	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数			1300		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2024年度 ビューティースタylist学科 ウェディングコース

	授業科目	総授業時間数	内)実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ウェディングプランナー論	135	135	婚礼施設(ゲストハウスなど)において、ウェディングプランナー実務経験11年。	
2	ブライダルマーケティング	30	30		
3	レストランサービス実務	105	105		
4	ドレスコーディネーター論	30	30	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
5	メイクアップ技術理論 I	30	30	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
6	ネイル技術理論	20	20	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
7	フェイシャルエステティック理論	20	20	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員経験30年のほか、シデスコインターナショナルエステディシャン、ソシオエステディシャン、AJESTTE認定講師を有する	
8	ブライダルゼミ	90	90	婚礼施設(ゲストハウスなど)において、ウェディングプランナー実務経験11年。	
9	コンピューターサービス	90	90	パソコンインストラクター歴20年以上。個人でパソコン教室も運営、企業におけるセミナーの講師などもおこなっている。	
10	キャリアデザイン	60	60	婚礼施設(ゲストハウスなど)において、ウェディングプランナー実務経験11年。	
11	ウェディング実習	270	270	婚礼施設(ゲストハウスなど)において、ウェディングプランナー実務経験11年。	
12	レストランサービス実習	120	120	ホテル、レストランでの実務経験7年。、国家検定レストランサービス技能検定3級を取得。ホテル、レストランの豊富な実務経験を活かし、専門知識とおもてなしとその実務に関する教育にあたる。	

13	ブライダルファッション	150	150	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
14	ブライダルビューティー	210	30	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
			180	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
15	ベーシックメイクアップ	60	60	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
16	ベーシックネイル	60	60	ネイルサロン経営14年。日本ネイリスト協会本部認定講師でもある。	
17	フェイシャルエステティック	40	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員経験30年のほか、シデスコインターナショナルエステティシャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する	
18	インターンシップ	60	60	ブライダル業界で8年勤務し、美容師免許・BIAアシスタントブライダルコーディネーター・WBJ認定ドレスコーディネーターを有する。	
実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数			1580		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目	授業方法	総授業時数
	関係法規・制度	講義	20 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	教職経験 28 年
学習の目的	美容師法、それに関連する法規を理解する。		
指導目標	法社会の中、スムーズな対応ができるよう法律の基礎を学ぶ、美容師試験の合格意欲を向上させる。		
指 導 の 要 点 及び留意点	・美容業界に必要な法知識を習得させる。 ・美容師試験に対応する基礎力をつける。		
評価の方法	中間、期末試験、授業における小テスト		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	関係法規・制度	社会生活における法の仕組み	板書を中心に学習内容を確認する。	
2	〃	法の形式	〃	
3	〃	美容師法と附属法令	〃	
4	〃	衛生行政	小テスト実施	
5	〃	美容師法の目的、定義	板書を中心に学習内容を確認する。	
6	〃	美容師に関する規定	〃	
7	〃	美容所に関する規定	〃	
8	〃	立入検査	〃	
9	〃	行政処分 司法処分	プリントにより行政処分の種類を確認する。	
10	〃	罰則	小テスト実施	
11	〃	総まとめ	期末試験対策	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	関係法規・制度		講義	10 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 6 コマ		担当授業時数	12 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	教職経験 28 年	
学習の目的	受験の準備として、法規全体の解釈を深める。			
指導目標	国家試験に必要な基礎力を身に着け、受験の準備をする。			
指 導 の 要 点 及び留意点	出題頻度の高い単元を徹底的に学習し、理解させる			
評価の方法	中間、期末試験による。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	関係法規 ワークブック	・ 行政処分 ・ 司法処分（罰則）	テキストで再確認し、練習問題を解く	
2	〃	美容師法の目的、定義	〃	
3	〃	・ 免許申請 ・ 免許変更届 ・ 試験	〃	
4	〃	・ 美容所の開設 ・ 開設者の衛生措置	〃	
5	〃	・ 関連法規 ・ 保健所	〃	
6	〃	・ 美容師の衛生措置 ・ 管理美容師	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	衛生管理（公衆衛生）		講義	50 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 16 コマ		担当授業時数	32 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験 34 年	
学習の目的	公衆衛生学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする。			
指導目標	美容師として、公衆衛生の維持と増進に責務を担っていることを理解させ、公衆衛生の概要、予防医学と保健、環境衛生の始祖知識を身につけさせる。			
指 導 の 要 点 及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる			
評価の方法	毎回の授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	1 編 1 章 公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生の発展の歴史 欧米の公衆衛生の歩み 我が国の公衆衛生の歩み	教科書説明 小試験&国家試験問題演習	
2	〃	公衆衛生の発展の歴史 消毒法の歴史 理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業	〃	
3	1 編 2 章 保健	母子保健	〃	
4	〃	成人・高齢者保健 死亡率、平均寿命 生活習慣病	〃	
5	〃	成人・高齢者保健 健康増進対策 がん、心臓病	〃	
6	〃	成人・高齢者保健 脳卒中、糖尿病、喫煙	〃	
7	〃	成人・高齢者保健 アルコール、身体活動・運動 高齢者の保健と福祉	〃	

8	〃	成人・高齢者保健 介護保険制度 精神保健	〃	
9	中間テスト			
10	2 編 1 章 環境衛生	環境衛生の概要 空気環境 空気成分	教科書説明 小試験&国家試験問題演習	
11	〃	空気環境 空気中に発生する有害物質 温度、湿度、気流(風)と健康 温度、湿度、気流、輻射熱	〃	
12	〃	温度、湿度、気流(風)と健康 温熱指標 衣服、住居の衛生 衣服の衛生	〃	
13	〃	衣服と住居の衛生 住居の衛生(採光と照明、換気)	〃	
14	〃	衣服と住居の衛生 住居の衛生(冷暖房) 上下水道と廃棄物 上水道	〃	
15	〃	上下水道と廃棄物 下水道、廃棄物	〃	
16	〃	衛生害虫とネズミ 環境保全	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	衛生管理（管理技術）		講義		50 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 後期 11 コマ			担当授業時数	22 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	歯科医師免許 歯科医師経験 36 年		
学習の目的	卒業後、美容所において法令に基づいた正しい消毒を行えるようになる。					
指導目標	一、美容業務を行う者、受けるものその両者を感染から守ることの重要性を理解している。 二、消毒法や消毒薬の基礎的知識や、関係法令を身につけている。					
指 導 の 要 点 及び留意点	美容所における衛生管理について化学的根拠に基づいて理解させる。 関係法令を常に念頭に置いて指導する。					
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100 点満点（配点未定） ただし授業態度点として 20 点を上限とし減点する場合がある。					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1	《4 編》第 1 章 消毒法総論	消毒とは 消毒の意義		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
2	第 1 章 消毒法 総論	美容業務と消毒との関係		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
3	第 1 章 消毒法 総論	消毒法と適用上の注意		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
4	第 1 章 消毒法 総論	問題練習		講師作成プリントによる問題練習		
5	第 2 章 消毒法各論	理学的消毒法		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
6	第 1 章 消毒法総論	中間テスト		講師作成試験問題による 学習目標達成の確認		
7	第 2 章 消毒法各論	化学的消毒法		レジュメ及び板書教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
8	第 2 章 消毒法各論	化学的消毒法		レジュメ及び板書教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
9	第 2 章 消毒法各論 《5 編》衛生管理 の実践例	すぐれた消毒法とその実施上の注意 美容所及び美容所における衛生管理要領、自主管理点検表について		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）		
10	第 2 章 消毒法各論	問題練習		講師作成プリントによる問題練習		

11	第 1 章～第 2 章 まとめ	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
----	--------------------	------	-----------------	--

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	衛生管理（管理技術）		講義・実習		40 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 前期 7 コマ			担当授業時数	14 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要		歯科医師免許 歯科医師経験 36 年		
学習の目的	卒業後、美容所において、法令に基づいた正しい消毒を実践応用できる。					
指導目標	一、消毒法実習を通じて、より確実な技術を身につけ、実践に備える。 二、美容所で使用されるさまざまな器具それぞれに適した消毒法を使い分けことができる。					
指 導 の 要 点 及び留意点	視覚的学習（DVD 等）や、消毒法実習を行うことにより、より確実な技術を身につけさせる。					
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100 点満点（配点未定） ただし授業態度点として 20 点を上限とし減点する場合がある。					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1	第 3 章 消毒法実習	各種消毒薬		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、講師作成まとめ用プリント）		
2	第 3 章 消毒法実習	各種消毒薬		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、講師作成まとめ用プリント）		
3	第 3 章 消毒法実習	美容所の消毒の実際 美容所の清潔法の実際		レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、講師作成まとめ用プリント）		
4	実習	消毒薬の調製 器具等の消毒		DVD による視覚学習 実際に器具等を消毒する。 逆性石けん希釈液を調製する。 紫外線消毒を体験する。 アルコール綿を作る。		
5	第 3 章	計算問題		計算問題に特化した講師作成プリントによる問題練習		
6	第 3 章	問題練習		講師作成プリントによる問題練習		
7	第 1 章～第 3 章	復習 問題練習		講師作成プリントによる問題練習		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目	授業方法	総授業時数
	衛生管理（感染症）	講義	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 16 コマ	担当授業時数	32 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験 7 年
学習の目的	美容の業を行うことにより生ずる衛生上（感染症）の危害を防止するだけの知識を学び、美容師免許国家試験の取得をする。		
指導目標	・感染症の歴史や法律上の分類法を理解し、病原微生物の種類や特徴を理解する。 ・免疫や予防接種、感染症発生の要因を理解する ・感染経路や予防対策を理解する。		
指 導 の 要 点 及び留意点	感染症のポイント及び予防方法、分類などのポイントをおさえ、国家試験の出題傾向をとらえて学習する。		
評価の方法	実技試験、確認テストを合わせて 60 点以上を合格とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	教科書 プリント	感染症の総論 人と感染症、感染症と法律	板書及びプリント パワーポイントなど	
2	教科書 プリント	感染症の歴史 感染症の法律	〃	
3	教科書 プリント	感染症の分類	〃	
4	教科書 プリント	感染症の分類	〃	
5	教科書 プリント	病原微生物の種類 微生物の構造	〃	
6	教科書 プリント	微生物の増殖と環境の影響	〃	
7	教科書 プリント	感染症の予防 微生物の病原性と人体の感受性	〃	
8	教科書 プリント	感染症発生の要因 感染症予防の三原則	〃	
9	教科書 プリント	理容業・美容業と感染症	〃	
10	教科書 プリント	主な感染症 空気、飛沫を介して感染する感染症	〃	

11	教科書 プリント	飲食物を介して感染する感染症	〃	
12	教科書 プリント	血液を介して感染する感染症	〃	
13	教科書 プリント	動物・節足動物を介して感染 する感染症	〃	
14	教科書 プリント	標準予防策 ワークブックまとめ	〃	
15	教科書 プリント	ワークブックまとめ	〃	
16	教科書 プリント	ワークブックまとめ	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	保健（生理解剖）		講義		50 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ			担当授業時数	22 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	歯科医師免許 歯科医師経験 36 年		
学習の目的	人体の生理解剖学に基づいた、安全で確実な施術を行える美容師となる。					
指導目標	一、美容業務を安全かつ効果的に行うために、生理学、解剖学の知識が不可欠であることを理解する。 二、美容技術の基礎となる人体（特に頭部、顔部、頸部）の構造と機能の知識を身に付ける。					
指導の要点 及び留意点	映像（DVD など）の視覚的学習を取り入れ、人体をより身近な実体として理解させる。					
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100 点満点（配点未定） ただし、授業態度点として 20 点を上限とし減点する場合がある。					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1	第 1 章 頭部、 顔部、頸部の 体表解剖学	頭部、顔部、頸部の部位、名称、 基準点などについて		レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）		
2	第 1 章 頭部、 顔部、頸部の 体表解剖学	頭部、顔部、頸部の部位、名称、 基準点などについて 問題練習		講師作成プリントによる問題練習		
3	第 2 章 骨格器 系	骨の種類、構造、連結、働きにつ いて		レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）		
4	第 2 章 骨格器 系	骨の種類、構造、連結、働きにつ いて 問題練習		DVD 鑑賞による視覚的学習 講師作成プリントによる問題練習		
5	第 1 章～第 2 章	中間テスト（筆記）		講師作成問題による学習の確認		
6	第 3 章 筋系	筋の種類、特徴、働きについて		レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）		
7	第 3 章 筋系	筋の種類、特徴、働きについて 問題練習		DVD 鑑賞による視覚的学習 講師作成プリントによる問題練習		
8	第 4 章 神経系	神経系の成り立ち、中枢神経と末 梢神経の働きについて		レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）		

9	第4章 神経系	神経系の成り立ち、中枢神経と末梢神経の働きについて 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
10	第5章 感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚について 問題練習	レジュメ及び板書 (教科書の本文、図表などの読み込み まとめ) 講師作成プリントによる問題練習	
11	第1章～第5章	まとめ 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

部長	部長代理	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	保健（生理解剖）		講義	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 13 コマ		担当授業時数	26 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	歯科医師免許 歯科医師経験 36 年	
学習の目的	人体の生理と解剖を学ぶことにより、卒業後、高齢化・多様化する社会に求められる美容師として、安全かつ高度な活躍ができる。			
指導目標	1 年時に学んだ人体の解剖・生理をさらに詳しく系統的に理解する。			
指 導 の 要 点 及び留意点	より具体的、系統的な理解ができるように指導する。 DVD などを使用し、視覚的な理解を深める。			
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100 点満点（配点未定） ただし、授業態度点として 20 点を上限とし減点する場合がある。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	第 6 章 血液と免疫系	血液のあらまし	レジュメ及び板書 (教科書の本文、図表などの解説)	
2	第 6 章 血液と免疫系	免疫のあらまし アレルギー 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
3	第 7 章 循環器系	心臓のあらまし 血液循環の仕組み	レジュメ及び板書 (教科書の本文、図表などの解説)	
4	第 7 章 循環器系	血液の循環経路 リンパ関係の仕組みと働き 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
5	第 6 章第 7 章	まとめ 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
6		中間テスト	講師作成問題にて学習目標到達度の 判定 DVD 驚異の小宇宙・人体～心臓血管	
7	第 8 章 呼吸器系	呼吸器系のあらまし 気道	レジュメ及び板書 (教科書の本文、図表などの解説)	
8	第 8 章 呼吸器系	肺の仕組みとガス交換 呼吸運動 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	

9	第9章 消化器系	消化器のあらまし 消化管の仕組み	レジュメ及び板書 (教科書の本文、図表などの解説)	
10	第9章 消化器系	消化管の働き 消化管と物質代謝 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
11	第1章～第5章	復習 過去の国家試験問題	講師作成プリントによる問題練習	
12	第6章～第9章	復習 過去の国家試験問題	講師作成プリントによる問題練習	
13	第1章～第9章	まとめ ワークブック	ワークブック	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度	科 目		授業方法		総授業時数
1 年生	保健（皮膚科学）		講義		50 時間
配当時間	1 コマ 90 分 後期 16 コマ			担当授業時数	32 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要		歯科医師免許・歯科医師経験 34 年	
学習の目的	皮膚科学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする				
指導目標	美容師として必要な皮膚科学の基礎と、疾患についての知識を身につけさせる				
指 導 の 要 点 及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる				
評価の方法	毎回授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する				
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価					
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動	評価等
1	第 1 章 皮膚の構造	皮膚の表面 皮膚の断面		教科書説明 小試験&国家試験問題演習	
2	〃	表皮 表皮と真皮の境		〃	
3	〃	真皮、皮下組織 皮膚の部位差		〃	
4	第 2 章 皮膚付属器官の 構造	毛の構造 成長周期		〃	
5	〃	毛の型の変化、立毛筋 毛の成長 毛の性状		〃	
6	〃	脂腺 汗腺 爪		〃	
7	第 3 章 皮膚の循環系と 神経系	血管 リンパ管 神経		〃	
8	中間テスト				

9	第4章 皮膚と皮膚付属 器官の生理機能	対外保護作用	〃	
10	〃	体温調節作用 知覚作用と皮膚反射	〃	
11	〃	分泌排泄作用、呼吸作用 吸収作用	〃	
12	〃	貯蔵作用 免疫・解毒・排除作用 再生作用 毛の働き・爪の働き	〃	
13	第5章 皮膚と皮膚付属 器官の保健	皮膚と全身状態、皮膚と体内病変 皮膚と精神 皮膚と栄養 皮膚と嗜好品	〃	
14	第5章 皮膚と皮膚付属 器官の保健	皮膚の水分と脂の状態	教科書説明 小試験&国家試験問題演習	
15	〃	皮膚付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ	〃	
16	〃	毛の保護と手入れ 爪の保護と手入れ 子供たちのおしゃれによる皮膚の トラブル		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	保健（皮膚科学）		講義	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ		担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験 34 年	
学習の目的	皮膚科学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする			
指導目標	美容師として必要な皮膚科学の基礎と、疾患についての知識を身につけさせる			
指 導 の 要 点 及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる			
評価の方法	毎回授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	第 5 章 皮膚と皮膚付属 器官の保健	皮膚付属器とホルモン 皮膚の保護と手入れ	教科書説明 小試験&国家試験問題演習	
2	〃	皮膚の保護と手入れ 爪の保護と手入れ 子供たちのおしゃれによる皮膚 トラブル	〃	
3	第 6 章 皮膚と皮膚付属 器官の疾患	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法	〃	
4	〃	皮膚炎と湿疹・ 蕁麻疹・薬疹	〃	
5	〃	口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害 角化異常による皮膚疾患	〃	
6	〃	色素異常による皮膚疾患 血管腫 脂腺母斑	〃	
7	〃	下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患	〃	

8	〃	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患		
9	〃	真菌による皮膚疾患 衛生害虫による皮膚疾患 感染症の皮膚疾患の予防	〃	
10	〃	毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍	〃	
11	第5、6章	総合演習	プリントによる問題演習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	香粧品	講義	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ		担当授業時数 22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験 25 年
学習の目的	国家試験の範囲と出題傾向の把握		
指導目標	教科書の要点をまとめながら実践問題(過去問)に取り組み、国家試験範囲の出題傾向を捉える		
指導の要点 及び留意点	各テーマごとにまとめと実際に出題された国家試験の過去問題を解くことで苦手意識をなくすとともに、出題傾向を捉える		
評価の方法	中間試験、期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容(単元・内容)	学 習 活 動	評価等
1	教科書、学習プリント	第1編 1章 香粧品総論 2章 香粧品を使用する際に気を付けるべきこと	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	教科書、学習プリント	3章 香粧品の成り立ち(水性原料、油性原料)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	教科書、学習プリント	3章 香粧品の成り立ち(界面活性剤)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	教科書、学習プリント	3章 香粧品の成り立ち(色材、香料)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	教科書、学習プリント	3章 香粧品の成り立ち(配合原料)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	中間試験			
7	教科書、学習プリント	第2編 1章 スキンケア製品(クレンジング用香粧品)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	教科書、学習プリント	1章 スキンケア製品(コンディショニング用香粧品、サンケア製品) 2章 メイクアップ製品	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	教科書、学習プリント	3章 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品(シャ	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

		ンプー、リンス、トリートメント)	る	
10	教科書、学習プリント	3章 パーマ剤	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	教科書、学習プリント	3章 (パーマ剤)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	香粧品	講義	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 後期 11 コマ		担当授業時数 22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	小中高理科教員免許(専修)経験 25 年
学習の目的	国家試験の範囲と出題傾向の把握		
指導目標	教科書の要点をまとめながら実践問題(過去問)に取り組み、国家試験範囲の出題傾向を捉える		
指導の要点 及び留意点	各テーマごとにまとめと実際に出題された国家試験の過去問題を解くことで苦手意識をなくすとともに、出題傾向を捉える		
評価の方法	中間試験、進級試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容(単元・内容)	学 習 活 動	評価等
1	教科書、学習プリント	3 章 (ヘアカラー製品)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	教科書、学習プリント	3 章 (ヘアカラー製品)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	教科書、学習プリント	3 章 (その他のヘアカラー製品)	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	教科書、学習プリント	3 章 スキャルプヘア製品	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	教科書、学習プリント(教科書総集編プリント)	香粧品概論、香粧品原料	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	教科書、学習プリント(教科書総集編プリント)	界面活性剤、色材	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
7	教科書、学習プリント(教科書総集編プリント)	配合成分	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

8	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	石けん、クリーム、乳液	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	シャンプー	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	パーマ剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	カラー剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	香粧品		講義	20 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ		担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	小中高理科教員免許（専修）・経験 26 年	
学習の目的	国家試験の範囲の出題傾向の把握と苦手分野の克服、要点の確認			
指導目標	国家試験範囲の出題傾向を確認し、苦手意識の持ちやすいところはあらためてまとめ直し、実践問題（過去問題）に取り組みながら克服する			
指 導 の 要 点 及び留意点	実践問題に取り組みながら出題傾向を確認し、化学の復習も重点をおく。また、覚えるべきことの確認をする。			
評価の方法	中間試験			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント①②	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント③④	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑤⑥	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑦⑧	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑨⑩	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	中間試験			
7	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑪⑫	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑬⑭	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑮⑯	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	香粧品問題プリント	香粧品問題プリント⑰⑱ 香粧品まとめのまとめプリント	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	香粧品問題プリント	香粧品まとめのまとめプリント 香粧品原料、界面活性剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 2年生	科 目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（香粧品）	講義	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 後期 8 コマ		担当授業時数 16 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	小中高理科教員免許（専修）・経験 26 年
学習の目的	国家試験の範囲の出題傾向の把握と苦手分野の克服、要点の確認		
指導目標	国家試験範囲の出題傾向を確認し、苦手意識の持ちやすいところはあらためてまとめ直し、実践問題（過去問題）に取り組みながら克服する		
指導の要点 及び留意点	実践問題に繰り返し取り組みながら出題傾向を確認し、化学の復習も重点をおく。また、覚えるべきことの確認をする。		
評価の方法	中間試験、卒業試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品まとめのまとめプリント 概論、香粧品用原料	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品まとめのまとめプリント 界面活性剤、色材	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品まとめのまとめプリント 配合成分、石けん	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品まとめのまとめプリント 化粧水、クリーム、乳、シャンプー	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品まとめのまとめプリント パーマ剤、染毛剤、サンケア、高分子	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品国試直前プリント 原料、界面活性剤、色材、配合成分	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
7	香粧品問題プリント、まとめ一覧	香粧品国試直前プリント シャンプー、パーマ、カラー	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	香粧品まとめ一覧 問題プリント、	香粧品国試直前プリント サンケア、高分子、直前プリント 見直し、確認	問題プリントを使用し、今までの実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

教課指導案(シラバス)				校長	副校長	課長	担当教員
令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法		総授業時数		
	文化論		講義		40 時間		
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ 後期 11 コマ		担当授業時数		44 時間		
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要		美容師免許・実務経験 14 年		
学習の目的	歴史の最古から、理美容のかかわりがあって今の美しさが創り上げられたということ。人がどのような時代背景の中でどのような美しさを求めたのかを知ってほしい。						
指導目標	国内外におけるファッションの変換 用語の理解を深める。 あまり難しく考えず、まずは時系列で時代の変化を楽しんで覚えていってほしい。						
指導の要点 及び留意点	主にパワーポイントで授業を行う。重要ポイントをレポートにまとめていく。 ノート、レポートのチェックも行ないます。						
評価の方法	前期中間試験 100 点満点中 60 点以上で合格 レポートの完成度と提出状況 0～10 点加算						
	前期末試験 100 点満点中 60 点以上で合格 レポートの完成度と提出状況 0～10 点加算						
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価							
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動			評価等
1	文化論	第 1 章 総論		理容、美容の語義 化粧の定義と歴史 文化的記号としての髪の毛			
2	文化論 資料プリント	第 2 章 日本の理容業・美容業の歴史		理容業の発生 制度に守られた理容業 近代の理容業明治時代～第 2 次世界大戦 美容業の歴史			
3	文化論 資料プリント	第 3 章ファッション文化史 (縄文・弥生・古墳時代) 紀元前 7000～592 年		土偶や埴輪からわかるもの			
4	文化論 資料プリント	古代（飛鳥・奈良・平安時代） 592～1086 年		唐風ファッション文化から日本風へ 唐衣裳と垂髪			
5	文化論 資料プリント	中世（平安・鎌倉・室町・戦国時代） 1086～1575 年		まとめ 確認テスト			
6		中間試験					
7	文化論	第 4 章 古代 エジプト 古代 ギリシャ・ローマ		宗教的な意味を持つかつら、髪型、化粧 一枚の布の造形 男性は短髪、女性は毛染め 命をかけた色白メイク シースルールック			
8	文化論 資料プリント	古代 ゲルマン		裁断・縫製をしたツーピース型の服装			
9	文化論	中世ヨーロッパ		エナンとエスコフィオンの流行			

	資料プリント	5～15 世紀		
10	文化論 資料プリント		まとめ 対策プリント	
11		期末試験		
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	文化論	近世（戦国・安土桃山時代） 1574～1603 年	男性の月代の普及 女性の結髪の始まり	
2	文化論 資料プリント	近世 （江戸時代） 1603～1868 年	月代の形	
3	文化論 資料プリント	近世 （江戸時代）	髷の種類おしろい お歯黒の普及	
4	文化論 資料プリント	近世 （ルネサンス時代） 16 世紀	スペインの影響 コルセット ファージンゲール イタリアの絹織物と合理的裁断法 ドイツ風幻想的装飾	
5	文化論 資料プリント		まとめ 確認テスト	
6		中間試験		
7	文化論 資料プリント	近世 （バロック時代） 17 世紀	自然らしさの回復 フランス モードの確立	
8	文化論 資料プリント	近世 （ロココ時代） 18 世紀	明るい色彩と豊富な装飾	
9	文化論 資料プリント	近代 18 世紀末～19 世紀初め	貴族文化の崩壊	
10	文化論 資料プリント	近代 19 世紀	革命期 まとめ 対策プリント	
11		期末試験		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	文化論		講義	20 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ		担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験 5 年	
学習の目的	・美容の歴史を学ぶ中で、コンサンスを得るためのヒントや想像の幅を広げるエッセンスが多く存在することを知り、今後の経験の中で理解を膨らませる。 ・国家試験合格のための知識の修得。			
指導目標	・日本史における近世（明治時代）から現代及び、西洋史における（1910 年代から）現代までをリンクさせることで、日本と世界の歴史を学ぶ。			
指 導 の 要 点 及び留意点	・日本史と西洋史をリンクさせ理解を深める。 ・日本史の範囲においては国家試験の範囲となるため、習熟度を高める。			
評価の方法	・中間試験・期末試験において 100 点満点中 60 点以上を合格とする ・授業への取り組みや、課題の提出状況。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	教科書 プリント	近代（明治時代）	髪型・化粧・服装	
2		近代（大正時代）	髪型・化粧・服装	
3		近代（昭和 20 年まで）	髪型・化粧・服装	
4		現代（1945～1950 年代）	髪型・化粧・服装	
5		復習と中間対策	対策プリント	
6	中間試験			
7		現代（1960～1970 年代）	髪型	
8		〃	化粧・服装	
9		現代（1980～1990 年代）	髪型	
10		〃	化粧・服装	
11		復習と期末対策	対策プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	美容技術理論		講義	90 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 23 コマ・後期 24 コマ		担当授業時数	94 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・美容実務経験 14 年	
学習の目的	技術の習得には美容の基礎的な理論と技術をまず学ばなければならない。それぞれの理論と動作を並行して履修を目指す。「なぜそうしなければならないのか」を理解する。			
指導目標	期末試験合格を目指す 美容の技術と心をお客様に提供できる美容師になってほしい			
指 導 の 要 点 及び留意点	パワーポイントにて授業を行う プリントのチェックを行う 確認テストを行う			
評価の方法	中間試験 60 点以上、期末試験 60 点以上で合格			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価 (前期 23 コマ)				
No.	教科書教材	学習内容 (単元・内容)	学 習 活 動	評価等
1	美容技術理論 1 美容実習 1	序章	1 美容理論と美容技術 2 作業姿勢 3 人体各部の名称 板書・確認テスト	
2	美容技術理論 1 美容実習 1	1 章 美容用具	1 用具 2 コーム 3 ブラシ	
3	美容技術理論 1 美容実習 1		4 シザーズ 5 レザー 6 ピン類、ヘアクリップ 7 ロッド	
4	美容技術理論 1 美容実習 1		8 ローラー 9 ヘアアイロン 10 ヘアドライヤー 板書・確認テスト	
5	美容技術理論 1 美容実習 1		11 ヘアスチーマー 12 遠赤外線機	
6	美容技術理論 1 美容実習 1	2 章 シャンプーイング	1 シャンプーイング総論	
7	美容技術理論 1 美容実習 1		2 サイドシャンプー 3 バックシャンプー	
8	美容技術理論 1 美容実習 1		4 リンス・コンディショナー・トリートメント	

9	美容技術理論 1 美容実習 1		5 スキャルプトリートメント 6 ヘッドスパ	
10	美容技術理論 1	中間試験	板書・確認テスト	
11	美容技術理論 1 美容実習 1	3 章 ヘアデザイン	1 美容とデザイン ①錯覚現象 ②デザインの要素	
12	美容技術理論 1 美容実習 1		③デザインの原理 板書・確認テスト	
13	美容技術理論 1 美容実習 1	4 章 ヘアカットイング	1 ヘアカットイングとは 2 シザーズとレザーの扱い方	
14	美容技術理論 1 美容実習 1		3 美容刃物	
15	美容技術理論 1 美容実習 1		4 ヘアカットイングの正しい姿勢 5 ブロッキング	
16	美容技術理論 1 美容実習 1		6 ヘアカットイングの基礎理論	
17	美容技術理論 1 美容実習 1		7 ベーシックなカット技法 8 シザーズによるカット技法	
18	美容技術理論 1 美容実習 1		9 レザーによるカット技法 板書・確認テスト	
19	美容技術理論 1 美容実習 1	5 章 パーマネントウェービング	1 パーマネントウェーブの歴史と現在 2 パーマネントウェーブの理論	
20	美容技術理論 1 美容実習 1		3 パーマ剤の分類 4 パーマ剤に関する注意事項	
21	美容技術理論 1 美容実習 1		5 パーマネントウェーブ技術	
22	美容技術理論 1 美容実習 1		6 縮毛矯正	
23	美容技術理論 1	期末試験	板書・確認テスト	

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価 (後期 24 コマ)

No.	教科書教材	学習内容 (単元・内容)	学 習 活 動	評価等
1	美容技術理論 1 美容実習 1	6 章 ヘアセッティング	試験解答解説 1 ヘアセッティングとは	
2	美容技術理論 1 美容実習 1		2 ヘアパーティング 3 ヘアシェーピング	
3	美容技術理論 1 美容実習 1		4 ヘアカーリング ①カールの各部の名称 ②カールの分類	
4	美容技術理論 1 美容実習 1		③ベースをつくる ④ステムの方向と角度 ⑤テンション	

5	美容技術理論 1 美容実習 1		⑥ループの大きさ ⑦カールピニング ⑧ピンカール別のカールピニング	
6	美容技術理論 1 美容実習 1		カール技術 5 ヘアウェービング	
7	美容技術理論 1 美容実習 1		6 ローラーカーリング 7 ブロードドライ	
8	美容技術理論 1 美容実習 1		8 アイロンセッティング 9 バックコーミング	
9	美容技術理論 1 美容実習 1		10 アップスタイル 11 ウイッグとヘアピース 12 ヘアセッティングの応用	
10	美容技術理論 1	中間試験	板書・確認テスト	
11	美容技術理論 1 美容実習 1	7 章 ヘアカラーリング	1 ヘアカラーリング概論 2 ヘアカラーの種類	
12	美容技術理論 1 美容実習 1		3 ヘアカラーのタイプ別特徴	
13	美容技術理論 1 美容実習 1		4 染毛のメカニズム	
14	美容技術理論 1 美容実習 1		5 色の基本 6 毛髪のレベルとアンダートーン	
15	美容技術理論 1 美容実習 1		7 パッチテスト 8 染毛剤使用時の注意事項 9 ヘアカラーリングの道具	
16	美容技術理論 1 美容実習 1		10 酸化染毛剤の技術手順 11 酸性染毛料の技術手順	
17	美容技術理論 1		板書・確認テスト	
18	美容技術理論 2 美容実習 2	8 章 エステティック	1 エステティック概論	
20	美容技術理論 2 美容実習 2		2 皮膚の生理と構造	
21	美容技術理論 2 美容実習 2		3 カウンセリング 4 美容におけるマッサージ理論	
22	美容技術理論 2 美容実習 2		5 フェイシャルケア技術 6 フェイシャル及びデコルテマッサージ	
23	美容技術理論 2 美容実習 2		7 フェイシャルパック 8 ボディケア技術 9 ボディマッサージ	
24	美容技術理論 2	期末試験	板書・確認テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	美容技術理論		講義		60 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 前期 15 コマ・後期 15 コマ			担当授業時数	60 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	美容師免許・実務経験 4 年		
学習の目的	10 章から 12 章までの理論をしっかりと理解させ、正確な技術を習得する 定期テストや国家試験合格という目的に加え、正確な技術と知識を持った美容師になれるよう基礎知識を覚えてもらう					
指導目標	実務実習に行った際、率先してヘルプに入り仕事を貰えるよう準備をする 急な仕事を振られても対応できるように事前に練習、心構えをする 技術には理論的根拠があるということを念頭に、正しい基礎技術、技術理論の 習得を目指す。 中間試験、期末試験合格 国家試験合格					
指導の要点 及び留意点	パワーポイントにて授業を行う ノート及びレポートチェック 章の終わりごとに確認テストを行いテストに備える					
評価の方法	中間試験 100 点満点中 60 点以上で合格 前期期末試験 100 満点中 60 点以上で合格 卒業見込み試験 60 点以上で合格 卒業試験 60 点以上で合格					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察		
2	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		3. フェイスプロモーション 4. 色彩について		
3	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		5. パーソナルカラー 6. 用具の種類と消毒法		
4	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		7. メイクアップ		
5	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修整メイクアップ一覧表		
6	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		10. まつ毛エクステンション パワーポイント		
7	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章メイクアップ		10 章まとめ 確認プリント		
8	美容技術理論 2	中間試験				

9		11.章 日本髪	1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和 5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ	
10	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術	9 かつら 確認テスト 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ	
11	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術	5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	
12	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術 12 章 着付けの理論と技術	9. 着付けの一般的要領 10.留袖着付け技術	
14	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術	11.振袖着付け技術 12.帯締め、帯揚げの結び方	
15	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術	13. 男子礼装羽織、袴着付け技術 14. 羽織ひもの結び方	
14	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術	15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁	
15	美容技術理論 2 美容実習 2 ワークブック	12 章 着付けの理論と技術	18. 洋装花嫁 確認テスト 期末試験対策	
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	美容技術理論 1 美容技術理論 2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
2	美容技術理論 1 美容技術理論 2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
3	美容技術理論 1 美容技術理論 2	卒業見込み対策	対策問題と解説	
4	美容技術理論 1 美容実習 1	序章 1 章 美容用具	パワーポイントにて解説 対策プリント	
5	美容技術理論 1 美容実習 1	2 章 シャンプーイング	パワーポイントにて解説 対策プリント	

6	美容技術理論 1 美容実習 1	3 章 ヘアデザイン	パワーポイントにて解説 対策プリント	
7	美容技術理論 1 美容実習 1	4 章 ヘアカッティング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
8	美容技術理論 1 美容実習 1	5 章 パーマネントウェーブ	パワーポイントにて解説 対策プリント	
9	美容技術理論 1 美容実習 1	6 章 ヘアセッティング	パワーポイントにて解説 まとめプリント	
10	美容技術理論 1 美容実習 1	7 章 ヘアカラーリング	パワーポイントにて解説 対策プリント	
11	美容技術理論 2 美容実習 2	8 章 エステティック	パワーポイントにて解説 対策プリント	
12	美容技術理論 2 美容実習 2	9 章 ネイル技術	パワーポイントにて解説 対策プリント	
13	美容技術理論 2 美容実習 2	10 章 メイクアップ	パワーポイントにて解説 対策プリント	
14	美容技術理論 2 美容実習 2	11 章 日本髪	パワーポイントにて解説 対策プリント	
15	美容技術理論 2 美容実習 2	12 章 着付けの理論と技術	パワーポイントにて解説 対策プリント	

教課指導案(シラバス)

教課指導案(シラバス)				校長	副校長	課長	担当教員
令和6年度 1年生	科 目		授業方法		総授業時数		
	運営管理		講義		20 時間		
配当時間	1 コマ 90 分 前期 11 コマ			担当授業時数	22 時間		
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	「運営管理」講師経験、社員教育経験			
学習の目的	美容業は競争が激しく、経営は非常に厳しいものとなっている。お客様に選んでもらえる店づくりを進めることは、すべての経営者にとって重要なテーマであり、それに貢献できることが新人にも求められている。この科目では、就職するうえでの心構えから、就職し経営に参画することの意味や働くうえでの義務、権利について学ぶ。そして、最終的には美容師国家試験の合格を目指す。						
指導目標	1. 経営とは何か。経営とは何を目的に、どのようなことを行っていくかといった経営の基礎を理解する。 2. 美容のサービスでは人が大きな役割を果たす。人を雇ううえで経営者が考えることを学ぶと共に、従業員として働いていくうえで求められることについて理解する。 3. 顧客が喜んでくれるサービスはどのように創られ、提供されるのか。その背景にある考え方を理解し、良いサービスの実現に貢献するための知識や方法を理解する。						
指導の要点 及び留意点	1. 適宜、レポート等の課題を与える。場合によっては小テストを実施します。 2. 講義形式でなく授業内でグループワークおよび発表も取り入れます。 3. 各授業には、教科書の該当ページを熟読し臨んでください。また、クラスメートの意見を尊重し、お互いに高め合う姿勢で授業に臨んでください。						
評価の方法	1. 知識（小テスト、定期試験） 2. 態度（授業におけるとりくみ） 3. 技能（プレゼンテーション）						
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価							
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等	
1	「運営管理」	ガイダンス：授業の概要と方法 経営とは何か 経営戦略とは何か		経営や経営者についての基本的な考え方や経営戦略を立案する基本的な流れを理解する。			
2	「運営管理」	理容業・美容業の経営 美容業界の概要と人口動態		理容・美容業界の現状と競争と顧客の状況について理解する。			
3	「運営管理」	資金の管理 会計の考え方 固定費と変動費		会計の基本的な用語を理解し、会計の全体のイメージを把握できるようになること。		確認試験	
4	「運営管理」	利益の仕組み 税金の種類とその内容		利益やコストについて理解する。 税金の種類とその内容について理解する。			

5	「運営管理」	人という資源 給与・待遇・福利厚生 労働基準法	社会の変化と労働の関係について理解する。 労働基準法の内容について理解できること。	確認試験
6	「運営管理」	社会保険の基礎①公的年金 国民年金・厚生年金保険	国民年金と厚生年金保険の違いを説明できるようになること。	
7	「運営管理」	社会保険の基礎②医療保険 健康保険・国民健康保険	健康保険と国民健康保険の違いを説明できるようになること。	
8	「運営管理」	社会保険の基礎③労働保険 雇用保険・労働者災害補償保険	雇用保険と労働者災害補償保険の違いを説明できるようになること	
9	「運営管理」	健康管理の基礎 メンタルヘルスケア サービス・デザイン	健康管理は強制される者ではないことを理解する。 サービス業はどのような仕事で、サービスはどうやってつくられているのかを理解する。	確認試験
10	「運営管理」	サービス・マーケティング マーケティングとは何か	マーケティングの基礎を理解する。 価値を実現するための基本的な考え方・方法を理解する。	
11	「運営管理」	サービスにおける人の役割 総まとめ	人の行うサービスについて理解する。 よい接客を実現するためのポイントを理解する。	定期試験

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目	授業方法	総授業時数
	運営管理	講義	10 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 6 コマ		担当授業時数 12 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・実務経験 4 年
学習の目的	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ 顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて学ぶ		
指導目標	経営者が果たす責任・役割の理解 労働者の権利、健康・安全な職場環境の実現の理解 社会保険制度の理解 サービスにおける人の役割の理解		
指 導 の 要 点 及び留意点	教科書に沿って事例などを入れながら進める		
評価の方法	前期期末試験 100 点満点 60 点合格		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	教科書	第 3 編 顧客の為に 第 1 章 サービス・デザイン	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
2	教科書	第 3 編 顧客の為に 第 1 章 サービス・デザイン	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
3	教科書	第 2 章 サービス・マーケティング	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
4	教科書	第 2 章 サービス・マーケティング	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
5	教科書	第 3 章 サービスにおける人の役割	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	
6	教科書	第 3 章 サービスにおける人の役割	教科書に沿い事例を入れながら講義 板書・パワーポイント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ヘアデッサン	講義・実習	30 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 17 コマ		担当授業時数 34 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	理美教センター インストラクター 25 年
学習の目的	- 顔のプロポーション、立体、基礎バランスの理解 - イラスト画を通じてヘアスタイル、メイクアップなどの想像力を身につける。		
指導目標	- ヘアメイクイラストを通じて平面からの立体表現を理解し、また影のつけ方による変化を学び、美容業における技術に役立たせる。 - ヘアスタイル画を描くことにより、スタイルのバリエーションなど造形に役立たせる		
指 導 の 要 点 及び留意点	基礎的な顔のバランスを理解して、美容業の創作の基礎をつくる。		
評価の方法	- 提出物、作品制作による採点 70 % - 出席状況 30 %		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	・テキスト ・ノート	・顔のプロポーションの理解 ・部分練習（目の描き方）	テキストに沿っての学習	
2	・鉛筆 6 B ・練り消し	・部分練習（鼻、口の描き方） ・正面向きの描き方	テキストに沿っての学習	
3	・さっぴつ ・カッター	・ヘアスタイルの描き方 ストレート～ウェーブなど	テキストに沿っての学習	
4	・消しゴム ・ティッシュ	・斜め向きの描き方	テキストに沿っての学習	
5	・ヘア雑誌 ・携帯	・横向きの描き方	テキストに沿っての学習	
6	（上記毎回使用）	・省略画の描き方	テキストに沿っての学習	
7	イラストボード	・パターン画の描き方	テキストに沿っての学習	
8		・写真画の描き方	テキストに沿っての学習	
9		・メイク画	・同じ顔型ベースを使用して イメージの異なる作品を作る	
10		・イメージイラスト画	・同じ顔型ベースを使用して イメージの異なる作品を作る	

11		・ 作品制作 1	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	
12		・ 作品制作 2	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	
13		・ 作品制作 3	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	
14		・ 作品制作 4	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	
15		・ 作品制作 5	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	
16		・ 作品制作 6	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	
17		・ 作品制作 7	テーマをもとにイラストボードに自由に作品を制作する	

教課指導案(シラバス)

教課指導案(シラバス)				校長	副校長	課長	担当教員
令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法		総授業時数		
	受験対策筆記（運営管理）		講義		60 時間		
配当時間	1 コマ 90 分 後期 8 コマ			担当授業時数	16 時間		
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要		「運営管理」講師経験、社員教育経験		
学習の目的	美容業は競争が激しく、経営は非常に厳しいものになっている。お客様に選んでもらえる店づくりを進めることは、すべての経営者にとって重要なテーマであり、それに貢献できることが新人にも求められている。この科目では、就職するうえでの心構えから、就職し経営に参画することの意味や働くうえでの義務、権利について学ぶ。そして、最終的には美容師国家試験の合格を目指す。						
指導目標	1. 経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を習得する。 2. 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを習得する。 3. 顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて習得する。						
指導の要点 及び留意点	1. 毎回、授業の中で確認テストを行う。 2. 各授業には、教科書の該当ページを熟読し臨むこと。						
評価の方法	1. 知識（確認テスト、定期試験） 2. 態度（授業におけるとりくみ）						
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価							
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等	
1	「運営管理」	国家試験直前対策① 確認テスト		主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。			
2	「運営管理」	国家試験直前対策② 確認テスト		主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。			
3	「運営管理」	国家試験直前対策③ 確認テスト		主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。			
4	「運営管理」	国家試験直前対策④ 確認テスト		主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。			
5	「運営管理」	国家試験直前対策⑤ 確認テスト		主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。			
6	「運営管理」	国家試験直前対策⑥ 確認テスト		主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。			

7	「運営管理」	国家試験直前対策⑦ 確認テスト	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	
8	「運営管理」	国家試験直前対策⑧ 確認テスト まとめ	主にテキストによる過去問題の分析、口頭での質疑応答を行い、各自の理解度を確認しながら進める。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	受験対策筆記（管理技術）		講義		60 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 後期 8 コマ			担当授業時数	16 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	歯科医師免許 歯科医師経験 36 年		
学習の目的	国家試験に合格する。					
指導目標	国家試験問題に慣れ、確実に合格点をとれる力を身につける。					
指 導 の 要 点 及び留意点	重要項目を確認し、問題練習を繰り返し行う。 国家試験形式の模擬試験を行う。 必要に応じて計算練習を行う。					
評価の方法	卒業試験（筆記） 100 点満点（配点未定）					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1	第 1 章 消毒法総論	重要ポイントの確認 国家試験過去問題などの問題練習		レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習		
2	第 1 章 消毒法総論	国家試験過去問題、ワークブック などの問題練習		レジュメ及び板書 ワークブック、講師作成プリントによる 問題練習		
3	第 2 章 消毒法各論	重要ポイントの確認 国家試験過去問題などの問題練習		レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習		
4	第 2 章 消毒法各論	国家試験過去問題、ワークブック などの問題練習		レジュメ及び板書 ワークブック、講師作成プリントによる 問題練習		
5	第 3 章 消毒法実習	重要ポイントの確認 国家試験過去問題などの問題練習		レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習		
6	第 3 章 消毒法実習	国家試験過去問題、ワークブック などの問題練習		レジュメ及び板書 ワークブック、講師作成プリントによる 問題練習		
7	第 1 章～第 3 章	まとめ 模擬試験		レジュメ及び板書 講師作成模擬試験		
8	第 1 章～第 3 章	まとめ 模擬試験		レジュメ及び板書 講師作成模擬試験		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（関係法規）		講義	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 8 コマ		担当授業時数	16 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	教職経験 28 年	
学習の目的	重要事項を反復学習し、得点力をアップさせる。			
指導目標	国家試験合格を目指し、関係法規の再確認をする。			
指 導 の 要 点 及び留意点	過去問題を中心に反復学習し、試験直前までの学習プランを探る。			
評価の方法	卒業見込み、卒業試験による。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	関係法規 過去問題集	法規、制度の復習Ⅰ	・ 関係法規、制度の総復習 ・ ワークを解く	
2	〃	法規、制度の復習Ⅱ	〃	
3	〃	法規、制度の復習Ⅲ	〃	
4	〃	過去問題傾向と対策Ⅰ	過去問題を解き、傾向を探る	
5	〃	過去問題傾向と対策Ⅱ	〃	
6	〃	過去問題傾向と対策Ⅲ	〃	
7	〃	過去問題傾向と対策Ⅳ	〃	
8	〃	試験への最終チェック	試験直前までの課題を検討	

教課指導案(シラバス)

教課指導案(シラバス)				校長	副校長	課長	担当教員
令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法		総授業時数		
	受験対策筆記（公衆衛生）		講義		60 時間		
配当時間	1 コマ 90 分 後期 8 コマ			担当授業時数	16 時間		
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要		歯科医師免許・歯科医師経験 34 年			
学習の目的	国家試験の合格を目指す						
指導目標	公衆衛生学全般の総復習を行い、国家試験問題に正解できる力を身につけさせる						
指 導 の 要 点 及び留意点	総復習を行いながら、練習問題になるべく多く取り組み、慣れさせる						
評価の方法	期末テストの成績、及び授業態度を総合的に考慮して評価する						
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価							
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動			評価等
1	公衆衛生の概要	教科書の総復習 （歴史、保健所）		プリントによる問題演習 （過去問を中心に）			
2	保健	教科書の総復習 （母子保健、成人・高齢者保健）		〃			
3	保健	教科書の総復習 （成人・高齢者保健）		〃			
4	保健	教科書の総復習 （成人・高齢者保健、精神保健）		〃			
5	環境衛生	教科書の総復習 （空気環境）		〃			
6	環境衛生	教科書の総復習 （衣服、住居の衛生、上下水道）		〃			
7	環境衛生	教科書の総復習 （廃棄物、衛生害虫、公害）		〃			
8	ワークブック 問題集	総合範囲		問題演習			

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目	授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（生理解剖）	講義	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 後期 8 コマ	担当授業時数	16 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	歯科医師免許 歯科医師経験 36 年
学習の目的	国家試験に合格する。		
指導目標	一、国家試験問題に慣れ、確実に合格点をとれる力を身に付ける。 二、図や表も読み取れる。		
指 導 の 要 点 及び留意点	重要項目を確認し、問題練習を繰り返し行う。 国家試験形式の模擬試験を行う。		
評価の方法	卒業試験（筆記） 100 点満点（配点未定） 予定		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	第 1 章 頭部、 顔部、頸部の体 表解剖学 第 2 章 骨格器 系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
2	第 3 章 筋系 第 4 章 神経系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
3	第 5 章感覚器系 第 6 章血液と免 疫系 第 7 章循環器系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
4	第 8 章 呼吸器 系 第 9 章 消化器 系	重要ポイントの確認 過去の国家試験問題等の問題練習 模擬試験	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	
5	第 1 章～第 9 章	重要ポイントの確認 ワークブック	レジュメ及び板書 ワークブック	

		模擬試験	講師作成プリントによる問題練習	
6	第1章～第9章	重要ポイントの確認 卒業試験の解説 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	
7	第1章～第9章	重要ポイントの確認 直前対策 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	
8	第1章～第9章	重要ポイントの確認 直前対策 模擬試験	レジュメ及び板書 ワークブック 講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 2 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	受験対策筆記（皮膚科学）		講義	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 後期 8 コマ		担当授業時数	16 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験 34 年	
学習の目的	国家試験の合格を目指す			
指導目標	皮膚科学全般の総復習を行い、国家試験問題に正解できる力を身につけさせる			
指 導 の 要 点 及び留意点	総復習を行いながら、練習問題になるべく多く取り組み、慣れさせる			
評価の方法	期末テストの成績、及び授業態度を総合的に考慮して評価する			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	第 1 章 皮膚の構造	教科書の総復習 （表皮・真皮・皮下組織）	プリントによる問題演習 （過去問を中心に）	
2	第 2 章 皮膚付属器官の構造	〃 （毛、脂腺、汗腺、爪）	〃	
3	第 3 章 皮膚の循環器系と神経系	〃 （血管、リンパ管、神経）	〃	
4	第 4 章 皮膚と皮膚付属器官の 生理機能	〃 （皮膚の作用について）	〃	
5	第 5 章 皮膚と皮膚付属器官の 保健	〃 （全身状態、病変、水分皮 脂、保護など）	〃	
6	第 6 章 皮膚と皮膚付属器官の 疾患	〃 （さまざまな疾患の特徴 など）	〃	
7	ワークブック 問題集	総合	問題演習	
8	ワークブック 問題集	〃	〃	

教課指導案(シラバス)

				校長	副校長	課長	担当教員
令和 6 年度 2 年生	科 目			授業方法		総授業時数	
	国試対策筆記（文化論）			講義		60 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 後期 6 コマ			担当授業時数		12 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要		美容師免許・サロン実務経験 5 年		
学習の目的	美容文化論を学び、当時の髪型や化粧、服装を知る。 時代の変化と流行を知り、現代ファッションやヘアメイクとのつながりを知る。 和装礼装、洋装礼装の種類と TPO を理解する。 国家試験 合格レベルの知識と理解。						
指導目標	年代別の流行のポイントを理解する。 国家試験に向けて復習し、練習問題などを行う。						
指 導 の 要 点 及び留意点	国家試験の範囲に集中させ、理解させる。 国家試験対策を行う。						
評価の方法	後期卒業試験 100 点満点中 60 点以上合格						
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価							
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動			評価等
1	教科書 プリント	礼装の種類		和装の礼装			
2		〃		洋装の礼装			
3		国家試験対策		全範囲			
4		〃		〃			
5		〃		〃			
6		〃		〃			

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ウェルネス理論Ⅰ（皮膚科学）	講義	90 時間
配当時間	1 コマ 90 分 28 コマ	担当授業時数	56 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年
学習の目的	エステティック技術の基本となる皮膚とスキンケアの関係を「皮膚の基本知識、美容上大切な皮膚の6つの働き、肌の美しさを損ねる要因、さまざまな肌状態、肌と環境、肌分析」という視点から理解する		
指導目標	皮膚は私たちの身体を守るバリアとして、体表面全体を覆う最大の臓器であり、紫外線や乾燥などの影響を防ぎ、身体内部のホメオスタシスに大きな役割を果たしていることを理解させる。 皮膚の働きと仕組みを理解し、美しく健康な肌へと導くスキンケア方法を学習させる。		
指導の要点 及び留意点	エステティック技術の基礎となる皮膚の構造と機能に関する基本的な知識を学ばせる。 肌状態の種類、肌の健康への阻害要因、具体的な例を交えて理解させる		
評価の方法	学期末試験成績：100点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基本知識	板書&教本ライン ・皮膚の役割 ・3面鏡（美しい肌を保つ条件） ・皮膚の構造と働き	
2	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基本知識	板書&教本ライン ・皮膚の3層構造 ・発生過程（外胚葉由来：皮脳同根） ・皮膚の断面図（A4用紙に図示） ・表皮の付属器官（名称のみ）	
3	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基礎知識	板書&教本ライン ・表皮の層構造 ・角質層、顆粒層、有棘層、基底層 ・透明層 ・角質層（バリア機能） ・角化作用とターンオーバー	
4	理論編Ⅰ	Lesson1 皮膚の基礎知識	板書&教本ライン ・表皮の付属器官（構造と働き） ・真皮の構造と働き ・乳頭層と網状層 ・皮下組織の構造と働き	

5	理論編 I	Lesson2 美容上大切な皮膚の6つの働き 1. 皮脂膜	板書&教本ライン ・ 皮脂膜&皮脂腺 ・ 皮脂分泌過剰による肌状態 ・ 皮脂分泌量の変化（要因） ・ 皮脂の主成分	
6	理論編 I	Lesson2 美容上大切な皮膚の6つの働き 2. 角質層バリア 3. 表皮ターンオーバー	板書&教本ライン ・ 角質層バリア（レンガ構造） ・ 表皮ターンオーバー ・ 不全角化の要因	
7	理論編 I	Lesson2 美容上大切な皮膚の6つの働き 4. メラノサイトの働き	板書&教本ライン ・ 人種による肌色の違い ・ メラニンの種類&量 ・ 日焼け反応 ・ メラニン色素生成のメカニズム	
8	理論編 I	Lesson2 美容上大切な皮膚の6つの働き 5. 毛細血管の働き 6. 線維芽細胞 7. 皮膚の働きのバランス	板書&教本ライン ・ 毛細血管の働き ・ 線維芽細胞の働き ・ 線維芽細胞の老化（真皮の変化） ・ 皮膚の働きのバランス	
9	理論編 I	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 1. 紫外線	板書&教本ライン ・ 紫外線（UVA、UVB、UVC） ・ 紫外線の肌への影響 ・ 紫外線量の変化（環境及び季節）	
10	理論編 I	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 2. 寒気 3. 乾燥 4. エイジング	板書&教本ライン ・ 寒気 ・ 乾燥 ・ エイジング 各要因の肌への影響について説明	
11	理論編 I	Lesson3 肌の美しさを損ねる要因 5. 女性のリズム 6. 精神的ストレス 7. 胃腸の不調 8. 生活習慣	板書&教本ライン ・ 月経、妊娠、更年期 ・ 精神的ストレス ・ 胃腸の不調（消化不良、便秘） ・ 生活習慣 各要因の肌への影響について説明	
12	理論編 I	Lesson4 さまざまな肌状態 1. 肌意識の年代変化 2. 美しい肌	板書&教本ライン ・ 肌悩みの年代別変化 ・ 美しい肌の条件（うなはだけつ） ・ 美肌を損なう要因 ・ 美肌ケアの基本	
13	理論編 I	Lesson4 3. 衰えた肌	板書&教本ライン ・ トラブル肌「老化」 ・ 老化の要因、メカニズム、肌変化	

14	理論編 I	Lesson4 3. 衰えた肌	板書&教本ライン ・トラブル肌「老化」 ・肌変化（表皮&真皮） ・シワの種類 ・老化要因及びお手入れ方法	
15	理論編 I	Lesson4 4. 色素沈着を起こした肌	板書&教本ライン ・トラブル肌「シミ」 ・シミの要因、メカニズム、肌変化 ・シミの種類（先天性&後天性） ・シミ要因及びお手入れ方法	
16	理論編 I	Lesson4 5. ニキビ	板書&教本ライン ・トラブル肌「ニキビ」 ・ニキビの発生過程 ・ニキビの種類（白、黒、赤、黄） ・ニキビ発生のメカニズム	
17	理論編 I	Lesson4 5. ニキビ 6. 肌荒れと敏感	板書&教本ライン ・トラブル肌「ニキビ」 ・ニキビの要因及びお手入れ方法 ・ニキビ肌お手入れポイント ・トラブル肌「敏感」 ・敏感肌の分類	
18	理論編 I	Lesson4 6. 肌荒れと敏感	板書&教本ライン ・トラブル肌「敏感」 ・アレルギー&アトピー体質 ・バリア機能低下による敏感 ・敏感要因及びお手入れ方法	
19	理論編 I	パック概論	板書 ・皮膚の経皮吸収について ・経皮吸収を高める条件 ・衛生面の重要性	
20	理論編 I	Lesson5 肌と環境 Lesson6 肌分析	板書&教本ライン ・肌と地域気候 ・肌と気象の季節区分 ・肌分析 ・肌タイプ（4分類） ・カウンセリングシート記入法例	
21	プリント	肌トラブル別一覧表	プリント&ライン ・肌トラブルの特徴 ・推奨化粧品&トリートメント ・ホームケアアドバイス	
22	理論編 I プリント	肌トラブル小論文作成	小論文作成 テーマ：肌トラブル	

23	理論編Ⅰ プリント	肌トラブル小論文作成	小論文作成 テーマ：肌トラブル	
24	理論編Ⅰ	ウェルネス ◇テスト	筆記テスト	
25	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説&解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
26	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説&解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
27	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説&解答 ・皮膚科学（プリント使用）	
28	センター筆記 試験例題集 理論編Ⅰ	筆記試験対策 ◇皮膚科学	解説&解答 ・皮膚科学（プリント使用）	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ウェルネス理論 I	講義	90 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期・後期 2 2 コマ	担当授業時数	44 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許
学習の目的	1:エステティックトリートメントを正しく行うために人体の構造・働きの基本を理解し、身体の悩みとの関連性を学ぶ。 2:健康と美容についてより深い知識を理解する。 3:エステティック効果がホメオスタシスと関わる生体反応であることを理解する		
指導目標	1:人体の構造・働きの基本を正しく理解し禁忌施術を防ぐ。 2:健康と美容への知識を深め、カウンセリングやトリートメント作成に役立てる。		
指 導 の 要 点 及び留意点	学び得た知識がエステティックトリートメントに活用できるようにグループワークも含め自主的な学習を促す。		
評価の方法	出席状況・授業態度・筆記試験の結果を考慮し総合評価とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson1 生命と適応進化	講義（教科書・プリント・資料）	
2	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson2 ホメオスタシスとは	講義（教科書・プリント・資料）	
3	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson 3 ホメオスタシスを制御するしくみ	講義（教科書・プリント・資料）	
4	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson4 ホメオスタシスを乱すストレス	講義（教科書・プリント・資料）	
5	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson1 まとめ・復習	教科書・プリント・資料	
6	新エステティック学 理論 I	Chapter2-Lesson1 身体の基本・構成	講義（教科書・プリント・資料）	
7	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson2 骨格系・筋系	講義（教科書・プリント・資料）	
8	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson3 神経系・神経細胞	講義（教科書・プリント・資料）	
9	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson3 中枢神経系	講義（教科書・プリント・資料）	
10	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson3 末梢神経系	講義（教科書・プリント・資料）	
11	新エステティック学 理論 I	Chapter1-Lesson3 自律神経系	講義（教科書・プリント・資料）	

12	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson4 感覚・感覚の分類	講義（教科書・プリント・資料）	
13	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson5 内分泌系	講義（教科書・プリント・資料）	
14	新エステティック学 理論Ⅰ	復習	教科書・プリント・資料	
15	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson6/7 呼吸器系・循環器系 血液・リンパ	講義（教科書・プリント・資料）	
16	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson7/8 循環器系・消化器系 血液・リンパ	講義（教科書・プリント・資料）	
17	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson9/10 泌尿器系・生殖器系	講義（教科書・プリント・資料）	
18	新エステティック学 理論Ⅰ	総復習	プリント・問題集	
19	新エステティック学 理論Ⅰ	総復習	プリント・問題集	
20	新エステティック学 理論Ⅰ	センター試験対策	プリント・問題集	
21	新エステティック学 理論Ⅰ	センター試験対策	プリント・問題集	
22	新エステティック学 理論Ⅰ	センター試験対策	プリント・問題集	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	インナービューティ関係論Ⅰ	講義	70 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 39 コマ	担当授業時数	78 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン 子育て支援センター育児講座講師
学習の目的	基礎的な栄養学や生理学、物理的反応を学び、その学びから得た知識をエステティックへ応用できるようにする。		
指導目標	身体の内側、または内面の状態を栄養学、生理学、物理的反応などから正しく読み取れる力を身に付けさせ、また、お客様とのコミュニケーションの中で役立つアドバイスに繋がる知識を身につけ、エステティックの効果を更に高められるよう指導する。		
指 導 の 要 点 及び留意点	授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。学生が自身のこれまでの経験や知識を活用しながら、学生が自ら学ぶ授業となるよう展開していく。		
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学① ・ 学ぶ目的（P 7） L 1. 栄養学の基礎知識（P 8～） 1、栄養素の種類 2、5大栄養素 1) 蛋白質、アミノ酸	講義	
2	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学② 2) 脂質	講義	
3	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学③ 3) 炭水化物 4) 無機質と水	講義	
4	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学④ 5) ビタミン 3、栄養価（P 2 5～） 1) エネルギー価	講義	
5	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑤ 2) 蛋白質の栄養価 4、栄養所要量（P 2 6～） 1) 基礎代謝 2) 1日に必要な栄養所要量	講義	

6	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑥ 5、食物摂取とその消化吸收 1) 飲食物摂取量の調節 2) 飲食物の消化吸收	講義	
7	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑦ 6、栄養学からみた食品 1) 食品の分類 2) 各食品の栄養学的特徴	講義	
8	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑧ L 2. 健康と栄養 (P 3 9 ~) 1、栄養状態の判定 1) 栄養歴 2) 視診と身体検査 2、肥満 1) 体型バランス 2) 体型バランスの表現法	講義	
9	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑨ 3) 美しく見えるプロポーション 4) 体型バランスの加齢変化 5) 肥満の原因	採寸・メジャー 講義	
10	新エステティック学 理論編Ⅱ	栄養学⑩ 6) 肥満の生理状態 7) 肥満の治療 3、中・老年期の栄養 1) 中・老年期の特徴 2) 生活習慣病と栄養 4、美容と栄養 1) ボディライン作りの栄養 2) 美肌作りの栄養 L 3. サプリメント L 4. 食品添加物 (P 5 0 ~)	講義 プリント	
11	新エステティック学 理論編Ⅱ	教科書まとめ・センター対策	プリント	
12	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学① ・学ぶ目的 (P 5 3) L 1. 化粧品概論 (P 5 4 ~) 1、化粧品、医薬部外品と薬事法 2、化粧品の分類 3、化粧品の品質と品質保証 4、化粧品の取り扱い上の留意点	講義	

13	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学② L 2. フェイシャル化粧品 1、目的と働き 2、洗顔化粧品	講義	
14	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学③ 3、整肌 4、賦活	講義	
15	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学④ L 3. ボディ化粧品 1、目的と働き 2、洗顔料 3、シェイプアップ料 4、サンケア料 5、制汗、防臭料	講義	
16	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑤ 6、浴用料 7、脱毛料 L 4. メイクアップ化粧品 1、目的と働き 2、ベースメイクアップ 3、ポイント L 5. ネイル化粧品 1、目的と働き 2、ネイルポリッシュ 3、ポリッシュリムーバー L 6. ヘアケア L 7. フレグランス	講義	
17	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑥ L 8. 化粧品の原料	講義	
18	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑦ L 9. 薬剤とその働き	講義	
19	新エステティック学 理論編Ⅱ	化粧品学⑧ まとめ	プリント	
20	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング① ・学ぶ目的（P 1 0 7） L 1. エステティックカウンセラーの役割 1、カウンセリングとコンサルティング 2、ソワンエステティックの担い手として 3、悩みを解決へと導く心理学療法 4、ストレスにより「ホメオスタシス」も低下 5、エステティックサロンに求められるもの	講義	

21	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング② L 2. 心のメカニズムと顧客心理 1、「意識」「情動」「欲求」 2、「顧客心理」4つのポイント 3、聴き上手になろう 4、話し上手になろう	講義	
22	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング③ L 3. カウンセリングの流れ 1、受付での対応 2、ビフォーカウンセリング 3、施術中のカウンセリング 4、アフターカウンセリング 5、退店での対応	講義	
23	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング④ L 4. カウンセリング手順 1、サロン内の環境 2、コンサルテーションシート 3、肌性及びトラブルに対する判断 4、体型と体質の判断 5、カウンセリング機器	講義	
24	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング⑤ まとめ	プリント	
25	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティックカウンセリング⑥ センター試験対策	プリント	
26	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学① ・学ぶ目的（P 1 4 5） L 1. 運動生理学とは（P 1 4 6～） 1、運動の必要性 2、運動の効果 3、筋肉について 4、筋収縮のエネルギー	講義	
27	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学② 5、筋疲労と超回復 6、呼吸・心臓と運動 7、血液と運動 L 2. 運動とアンチエイジング 1、筋肉と老化 2、呼吸・心臓と老化 3、骨・関節と老化 4、メタボリックシンドローム	講義	

28	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学③ 5、ストレスと運動 L 3. 運動と代謝 (P 1 5 4～) 1、エネルギー代謝とは 2、糖質と代謝 3、脂質と代謝 4、蛋白質と代謝 5、基礎代謝と運動 6、消費カロリー	講義	
29	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学④ L 4. 運動プログラム (P 1 5 7～) 1、運動プログラムの作り方 2、運動の種類 3、運動・トレーニングの原則 4、運動の強度 5、運動の持続時間・頻度 6、運動と消費カロリー L 5. 姿勢・ポジショニング 1、姿勢の維持	講義	
30	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑤ 1) 重力と姿勢 2) カウンターバランスと拮抗関係 3) 骨盤の役割 4) 股関節の重要性	講義	
31	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑥ 2、動作と姿勢の関係 1) 動作がおよぼす技術への影響 2) 姿勢と故障の関係性 L 6. 運動の実際 (P 1 7 0～)	講義	
32	新エステティック学 理論編Ⅱ	運動生理学⑦ まとめ	プリント	
33	新エステティック学 理論編Ⅱ	総まとめ・センター試験対策	プリント	
34	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学① ・学ぶ目的 (P 1 7 5) L 1. 電気理論 (P 1 7 6～) 1、電機の基礎知識 1) 原子と自由電子 2) 化学結合の3種類 3) 電流と電子 4) オームの法則、電力及び電気量	講義	

35	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学② 5) 動電気と静電気 6) 電流の3大作用 7) 直流と交流	講義	
36	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学③ L 2. 人体と電気 (P 186～) 1、「化学物質による情報伝達」と「電氣的情報伝達」 2、電気信号伝達のメカニズム 1) 細胞の活動電位とイオンの移動 2) 活動電位と情報の伝播	講義	
37	新エステティック学 理論編Ⅱ	エステティック機器学④ L 3. エステティック機器の種類と原理 1、エステティック機器の種類と原理 2、エステティック機器の原理 1) トリートメント機器の原理 2) カウンセリング機器の原理	講義	
38	プリント	教科書総まとめ	プリント	
39	プリント	テスト対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	ビューティビジネス理論 I		講義	50 時間
配当時間	1 コマ 90 分	前・後期 28 コマ	担当授業時数	56 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン 子育て支援センター育児講座講師	
学習の目的	エステサロンビジネスの現状を理解し、より良いエステ業界、サロン経営について 自ら考え、行動できる力を身に付ける。			
指導目標	エステサロンビジネスにおいて必要な基礎的な知識、法律、衛生管理などを正しく理解 させ、トラブルや、事故の起こらない、また、起こってしまった際に対応できる力を身 に付けさせる。			
指 導 の 要 点 及び留意点	授業は講義とグループワークや発表などを中心とする。			
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記試験の結果を考慮して成績を評価する。			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論① ・ 学ぶ目的（P 8） L 1. エステティックの概念（P 9～） 1、エステティックとは何か 2、内面美容としてのエステティック L 2. 心のメカニズムと顧客心理 1、エステティックの語源と歴史 2、エステティックの領域	講義	
2	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論② L 3. ソワンエステティック 1、ソワンエステティックの語源 2、目的とされる効果 3、スキントッチの重要性 4、五感美容	講義	
3	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論③ L 4. 美と健康 1、健康美は心身のバランスから 2、ウエルネス 3、アンチエイジング L 5. エステティシャンとしての心構え	講義	

		1、エステティシヤンの資質 2、ホスピタリティーマインドの意義 L 6．日本のエステティック 1、歴史と業界の現状		
4	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論④ 2、エステティック市場の現状と展望 L 7．世界のエステティック 1、欧米における歴史と現状 2、アジアにおける歴史と現状 3、各国のエステティシヤン	講義	
5	新エステティック学 理論編Ⅲ	エステティック概論⑤ 教科書まとめ	プリント	
6	新エステティック学 理論編Ⅲ	センター試験対策	プリント	
7	新エステティック学 理論編Ⅲ	関連法規① ・学ぶ目的（P 3 7） L 1．法の基礎知識（P 3 8～） 1、社会生活と法 2、法とは社会規範	講義	
8	新エステティック学 理論編Ⅲ	3、法の強制力 4、法の原則 5、日本の資格制度 6、エステティックと法律 L 2．消費者保護法 1、消費者政策 2、エステティックに関連する消費者トラブル 関連法規② 3、トラブル対応の心得 L 3．人の身体に直接触れる職業に関連する法律 1、四つの衛生法規 2、エステティックに関わりの深い衛生法規	講義	
8	新エステティック学 理論編Ⅲ	関連法規③ L 4．経済行為に関連する法律 1、商法 2、集客 3、個人情報の保護に関する法律 4、民法 5、消費者契約 6、消費者契約法	講義	

9	プリント	関連法規④ 7、特定商取引に関する法律 8、割賦販売法 9、都道府県条例 L 5. エステティック業界の統一自主基準 1、自主基準策定の目的 2、エステティックの定義 3、日本エステティック振興協議会の倫理綱領 4、サロン遵守事項	プリント	
10	新エステティック学 理論編Ⅲ	教科書まとめ・センター試験対策 公衆衛生・衛生管理① ・学ぶ目的（P 7 3） L 1. 公衆衛生（P 7 4～） 1、公衆衛生とは何か	講義	
11	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理② 2、世界における公衆衛生の歴史 3、日本における公衆衛生の歴史	グループワーク	
12	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理③ L 2. 衛生管理（P 7 7～） 1、衛生管理全般 2、消毒方法の種類とその基本的な使用方法 3、消毒の準備・用具 1）物理的方法で消毒する場合の準備 2）化学的方法で消毒する場合の準備 3）消毒に必要な器具・備品類 4、施術にかかわるものの消毒方法 1）施術で皮膚に接する器具・用具類の消毒方法 2）そのほかの器具・用具 3）サロン内の施設・設備 4）エステティシャンの手指の消毒	講義	
13	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理④ L. 3 感染症（P 8 5～） 1、感染のメカニズム 2、エステティックに関連する感染症 L 4. 衛生管理の実践（P 9 0～）	講義	
14	新エステティック学 理論編Ⅲ	公衆衛生・衛生管理⑤ 教科書まとめ・センター対策	講義	

15	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営① ・学ぶ目的（P 9 5） L 1．サロン開設のシュミレーション 1、サロンコンセプトを打ち出す L 2．サロンの運営と管理 1、就業規則を作る 2、資産管理	講義・プリント	
16	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営② 3、スタッフマネジメント 4、サロンの1日の流れ 5、顧客マネジメント	講義	
17	新エステティック学 理論編Ⅲ	サロン経営③ L 3．サロン繁栄のために 1、繁栄するサロンとは 2、サロン経営者としての心構え 接客マナー① ・学ぶ目的（P 1 0 9） L 1．笑顔・あいさつ（P 1 1 0～） 1、接客の基本 2、心の持ちようが美しい笑顔を作る 3、言葉・表情・動作が一体化したあいさつが理想	プリント (レポート)	
18	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー② L 2．身だしなみ 1、第一印象が重要 2、身だしなみは「無言の招待状」 L 3．言葉遣い 1、サロンにおける15の接客基本用語 2、言葉遣いにも心を込めて	講義 プリント	
19	新エステティック学 理論編Ⅲ	接客マナー③ L 4．態度・振る舞い 1、サロンの代表として振る舞う 2、来客対応の美しい流れ 3、真心のある効率的なサービスを L 5．電話対応の心得 1、電話は声と口調が頼り 2、電話対応の一連の流れ 3、電話をかけるときの注意点 L 6．基本動作 L 7．お客様への心遣い L 8．クレーム処理 L 9．サロン実習	講義	

20	新エステティック学 理論編Ⅲ	教科書まとめ・センター対策	プリント	
21	新エステティック学 理論編Ⅲ	救急法① ・学ぶ目的（P 1 4 7） L 1．救急法の基本（P 1 4 8～） 1、正しい救急法 2、応急手当と一次救命処置 1）応急手当 2）一次救命処置 3、救助者の心構え 4、救助者が行ってはいけないこと L 2．エステティシャンにかかわる救急法 1、事前準備が大切 2、コンサルテーションで留意すること 3、救急の「記録帳」を用意する 4、サロンやスパなどで起こりうるアクシデント 5、救急車の適正な利用 L 3．エステティシャンが行う「応急手当」 1、傷病者の見方と手当の方法 2、応急手当で気をつけること	講義	
22	新エステティック学 理論編Ⅲ	救急法② 3、止血法の実際 4、三角巾の活用法 5、救急箱の設置 L 4．エステティシャンが行う「一次救命処置」 1、「一次救命処置」とは 2、一次救命処置の方法 3、「四つの連鎖行動」がキーポイント 4、手当の基本は「傷病者の反応の観察から」 5、救命処置の「流れ」と「具体的な方法」 L 5．傷病者の移動（P 1 7 0～）	講義	
23	プリント	救急法③ 教科書まとめ・センター試験対策	プリント（レポート）	
24	プリント	教科書総復習	プリント	
25	プリント	センター試験対策総まとめ①	プリント	
26	プリント	センター試験対策総まとめ②	プリント	
27	プリント	センター試験対策総まとめ③	プリント	
28	プリント	テスト対策②	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ボディエステティック理論	講義	20 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期・後期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許
学習の目的	1：AJESTHE 認定エステティシャン資格取得のためボディ理論を学ぶ。 2：身体の生理機能を踏まえてボディトリートメントの目的や効果を理解する。		
指導目標	ボディトリートメント（マニピュレーション・機器）の方法・目的・効果・注意事項・禁忌を正しく理解し、安全で効果的な技術理論を学ぶ。		
指 導 の 要 点 及び留意点	学び得た知識がエステティックトリートメントに活用できるようにグループワークも含め自主的な学習を促す。		
評価の方法	出席状況・授業態度・筆記試験の結果を考慮し総合評価とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson1 ボディエステティックの 目的と効果	講義（教科書・プリント・資料）	
2	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson2/3/4 流れ・事前準備・ボディ トリートメント	講義（教科書・プリント・資料）	
3	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson5 ボディエステティック機器	講義（教科書・プリント・資料）	
4	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson5/6 機器・ボディマッサージ①	講義（教科書・プリント・資料）	
5	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson6 ボディマッサージ②	講義（教科書・プリント・資料）	
6	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson6 ボディマッサージ③	講義（教科書・プリント・資料）	
7	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson6 ボディマッサージ④	講義（教科書・プリント・資料）	
8	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson6 ボディマッサージ⑤	講義（教科書・プリント・資料）	
9	新エステティック学 技術 I	Chapter2-Lesson6 ボディマッサージ⑥	講義（教科書・プリント・資料）	
10	新エステティック学 技術 I	まとめ	講義（教科書・プリント・資料）	
11	新エステティック学 技術 I	センター試験対策	プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	メイクアップ技術理論		講 義	30 時間
配当時間	1 コマ 90 分	前期 17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験 7 年 ウェディングスタイリスト経験 1 年 美容専門学校メイク教員 10 年	
学習の目的	メイクアップは生活環境のあらゆる場面に広がりを見せ、どんな人にも、どんな目的にも対応できる基本的なメイクアップ理論を学ぶことにより、感性や感覚だけのメイクアップではない理論をもとに成り立つ基本的なメイクアップを理解する。			
指導目標	・メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、メイクアップ検定 3 級取得をめざす。 ・メイクアップの技術、道具の使用方法、モデルへの接し方など、技術者のマナーを身につける。 ・メイクアップに必要な化粧品の特徴を理解し、さまざまな要望に応えられる知識を身につける。			
指 導 の 要 点 及び留意点	美容技術理論 2 の教科書にそって、メイクアップの基本知識を習得し、実習とリンクしやすいように進める。			
評価の方法	期末試験で 60 点以上を合格とする。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	テキスト	光と影のメイクアップ	光と影のメイクアップの法則、 キレイに見える陰影を理解する	
2	テキスト	メイクアップテクニック ・顔の構造 ・スキンケアの基礎知識 ・クレンジング	顔の構造を理解し、スキンケア メイクアップの知識と、テクニ ックを学ぶ。	
3	テキスト	メイクアップテクニック ・ベースメイクアップ	ベースメイクアップの基礎知識 とテクニックを学ぶ。	
4	テキスト	メイクアップテクニック ・アイメイクアップ	アイメイクアップの基礎知識と テクニックを学ぶ。	
5	テキスト	メイクアップテクニック ・アイブロウメイクアップ	アイブロウメイクアップの基礎 知識とテクニックを学ぶ。	
6	テキスト	メイクアップテクニック ・リップメイクアップ	リップメイクアップの基礎知識 とテクニックを学ぶ。	

7	テキスト	メイクアップテクニック ・ブラッシュオンメイクアップ	ブラッシュオンメイクアップの 基礎知識とテクニックを学ぶ。	
8	テキスト	全体まとめ 復習 概論・光と影	過去問・模擬テスト・練習問題	
9	テキスト	全体まとめ 復習 スキンケア	過去問・模擬テスト・練習問題	
10	テキスト	全体まとめ 復習 ベースメイクアップ	過去問・模擬テスト・練習問題	
11	テキスト	全体まとめ 復習 アイメイクアップ	過去問・模擬テスト・練習問題	
12	テキスト	全体まとめ 復習 アイブ로우メイクアップ	過去問・模擬テスト・練習問題	
13	テキスト	全体まとめ 復習 リップメイクアップ	過去問・模擬テスト・練習問題	
14	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
15	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
16	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	
17	テキスト	全体まとめ 復習	過去問・模擬テスト・練習問題	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	ネイル技術理論		講義	20 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 11 コマ		担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許 美容師歴 3 年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBS ネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル 3 6 5 エデュケーター資格 クリストリオ社シルバーエデュケーター資格 ネイルサロン経営(15 年)	
学習の目的	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを習得する為にネイル学を理解する			
指導目標	爪の構造と機能、皮膚科学、整理解剖学、衛生管理、病気とトラブル これらの理解と活用			
指 導 の 要 点 及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客に心理や時間の大切さ、楽しさを伝える			
評価の方法	各学期末試験によって決定 1 0 0 点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席なども考慮対象とする			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	基礎理論	テキストを使用して説明 板書	
2	P3-13	ネイルの歴史	テキストを使用して説明 板書	
3	P14-19	技術体系 構造と働き	テキストを使用して説明 板書	
4	P20-27	皮膚科学 生理解剖学Ⅰ	テキストを使用して説明 板書	
5	P28-37	生理解剖学Ⅱ 病気とトラブル	テキストを使用して説明 板書	
6	P38-52	消毒法、香粧品学 色彩理論	テキストを使用して説明 板書	

7	P57-66	カウンセリングとプロフェッショナルリズム 環境と衛生基準	テキストを使用して説明 板書	
8	P70-73	テーブルセッティング ネイルケアの手順	テキストを使用して説明 板書	
9	P85-91	カットスタイル	テキストを使用して説明 板書	
10	P117-134	ネイルアート	テキストを使用して説明 板書	
11		定期試験用まとめ	ネイリスト検定 3 級に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	アロマセラピー I		講義	30 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 17 コマ		担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	アロマインストラクター・経験 10 年	
学習の目的	1、アロマセラピーとは何か、日常での使用方法を正しく理解させる。 2、香りを体験し、嗅ぎ分けることができるようにする。 3、それぞれの精油の効果、効能を理解する。			
指導目標	1、アロマセラピーに関する正しい知識の取得 2、日常でアロマセラピーが実践できるようにする。 3、10 種類の精油を嗅ぎ分けられるようにする。			
指導の要点 及び留意点	類似した精油の香り、効果効能を間違えずに理解させる。 日本におけるアロマセラピーは医療行為ではないことを理解させる。			
評価の方法	授業態度 筆記試験：100 点満点（配分未定）予定			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	アロマセラピー検定 公式テキスト	Chapter1 P8～12 アロマセラピーの基本 Capter2 P14～18 精油がもたらす作用	アロマセラピーの定義 10 種類の精油の香りイメージの作成 精油の定義	
2	アロマセラピー検定 公式テキスト	Chapter2 P19～24 精油の抽出方法、選び方 精油と環境について	精油のそれぞれの抽出方法について学ぶ。 精油のもととなる植物について学ぶ	
3	アロマセラピー検定 公式テキスト	Capter3 P28～32 アロマセラピーの安全性	香りテスト 精油を安全に使用するための心得 精油の保管方法を学ぶ	
4	アロマセラピー検定 公式テキスト	Chapter4 P35～40 アロマセラピーを実践する	香りテスト アロマセラピーで使用する基材と用具を学ぶ	
5	アロマセラピー検定 公式テキスト	Chapter4 P42～49 アロマセラピーを実践する 利用法	香りテスト 芳香浴、沐浴、吸入法について学ぶ	
6	アロマセラピー検定 公式テキスト	Chapter4 P50～54 アロマセラピーを実践する 利用法	香りテスト フェイシャルスチーム、湿布法、トリートメント法について学ぶ	
7	アロマセラピー検定 公式テキスト	精油のプロフィール P106.108	香りテスト オレンジ、ゼラニウム	

8	アロマセラピー検 定 公式テキスト	精油のプロフィール P109.113	香りテスト ティートリー、フランキンセンス	
9	アロマセラピー検 定 公式テキスト	精油のプロフィール P115.120	香りテスト ペパーミント、ユーカリ	
10	アロマセラピー検 定 公式テキスト	精油のプロフィール P121.122	香りテスト ラベンダー、ユーカリ	
11	アロマセラピー検 定 公式テキスト	精油のプロフィール P124,125	香りテスト ローズ、ローズオットー	
12	アロマセラピー検 定 公式テキスト	精油のプロフィール P126	香りテスト ローズマリー アロマスプレー作成	
13	アロマセラピー検 定 公式テキスト	Chapter 1 ～ 2	香りテスト 総復習、練習問題	
14	アロマセラピー検 定 公式テキスト	Chapter3～4	香りテスト 総復習、練習問題	
15	アロマセラピー検 定 公式テキスト	精油プロフィール	香りテスト 総復習、練習問題	
16	アロマセラピー検 定 公式問題集	2 級練習問題①	香りテスト 練習問題、解答解説	
17	アロマセラピー検 定 公式問題集	2 級練習問題②	香りテスト 練習問題、解答解説	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度	科 目		授業方法	総授業時数
1 年生	パーソナルカラーコーディネートⅠ		※講義もしくは実習	30 時間
配当時間	1 コマ 90 分 17 コマ		担当授業時数	34 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容部員経験 4 年 美容師免許 1 級色彩コーディネーター パーソナルカラリスト 1 級 日本カラリスト協会 色彩指導員歴 6 年	
学習の目的	色の理論を理解させ、理論に基づいた配色ができるようにする。 パーソナルカラーを意識する事で、お客様への的確なアドバイスを行えるような知識を身につける			
指導目標	色のしくみを知り、色に対して興味を持つようにする			
指 導 の 要 点 及び留意点	実践で役立つ色の知識を身に付けさせる。			
評価の方法	学期末試験成績 授業態度及び出席状況により判断			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	公式テキスト P14~17 P4~7.P8~13	第 1 章 色彩と文化 色と生活・四季の自然を表す色 日本の色の歴史	・身の回りにある身近なものを通して、日々色に触れていることを感じさせる ・歴史を学び、時代の色の持つ効果を知る	
2	公式テキスト P8~13	第 1 章 色彩と文化 日本の色の歴史	・歴史を学び、時代の色の持つ効果を知る ・時代の流れをつかむ	
3	公式テキスト P18~25	第 1 章 色彩と文化 色の種類	・色に対してのイメージを学び、心理に与える影響を学ばせる ・プリントに書き出す	
4	公式テキスト P18~25 P26~30	第 1 章 色彩と文化 色の種類 第 2 章 色彩心理 色のしくみ	・色に対してのイメージを学び、心理に与える影響を学ばせる ・色の感じる仕組みを学ぶ	
5	公式テキスト P31~40 P41~43. P44~43	第 2 章 色彩心理 色の感情効果 C U S 表色系・色の三属性と対比現象	・色相環を理解させる ・色々な配色を理解させる ・色の効果について学ぶ	

6	公式テキスト P41~43. P44~43	第2章 色彩心理 C U S 表色系 色の三属性と対比現象 C U S 表色系	・色相環を理解させる ・色々な配色を理解させる ・色の効果について学ぶ	
7	公式テキスト P44~45 P48~57	第2章 色彩心理 C U S 表色系・色の三属性と対比現象 C U S 配色効果	・24色相環を理解させる ・9色調の名称を覚える	
8	公式テキスト P48~57	第2章 色彩心理 C U S 配色効果	・アンダートーン配色を学ぶ ・プリントを使い、色調との関連や理解を深める	
9	公式テキスト P48~57	第2章 色彩心理 C U S 配色効果	・アンダートーン配色を学ぶ ・プリントを使い、色調との関連や理解を深める	
10	公式テキスト P48~57	第2章 色彩心理 C U S 配色効果	・24色相環の理解を深める為、3色の絵の具を使い、24色をつくる	
11	公式テキスト P48~57	第2章 色彩心理 C U S 配色効果	・24色相環の理解を深める為、3色の絵の具を使い、24色をつくる	
12	公式テキスト P59~65	第3章 色彩とファッション ファッション概論	・服飾文化やファッションの配色を学ぶ ・イメージ用語の基礎知識、配色を覚えるため、プリントに配色事例を作成する	
13	公式テキスト P66~70	第3章 色彩とファッション ブライダルと色彩	・ウェディングの歴史を学ぶ ・ウェディングに関連した配色調和を学ぶ	
14	公式テキスト P70~74	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー	・パーソナルカラーとは ・パーソナルカラーによってその人の魅力をより引き出すコーディネートを学ぶ ・イメージ用語との関連を学ぶ	
15	公式テキスト P70~74	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー	・パーソナルカラーとは ・パーソナルカラーによってその人の魅力をより引き出すコーディネートを学ぶ ・イメージ用語との関連を学ぶ	
16		色相環	・3色の絵の具を使って24色相環を作る	
17		色相環	・3色の絵の具を使って24色相環を作る	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック		実習	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期・後期 22 コマ		担当授業時数	44 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許	
学習の目的	1: フェイシャルエステティック技術の目的・効果を理解させ、サロンワークを行う上で必要な基本手技を習得する。 2:肌状態（肌質・肌悩み）を理解し、より効果的な技術の向上に努める。 3:フェイシャル機器の操作方法・禁忌事項を理解し肌状態（肌質：肌悩み）との適合性を学ぶ。 4:サロンワークを留意し、クライアントへの気配り・心遣いを身に付けさせ衛生にも考慮する。			
指導目標	1:フェイシャルエステティック技術の基本的な流れや1つ1つの目的、手法、効果について理解する。 2:フェイシャルエステティックに関する基礎的な知識を習得し、肌状態（肌質・肌悩み）に対応できる技術の習得に努める。			
指導の要点 及び留意点	1:フェイシャルマッサージの基本 6 手技を確実に習得する。 2:肌状態（肌質・肌悩み）とトリートメントの適用性と禁忌を理解する。 3: サロン業務で必要とされる細やかな心遣いと所作を身に付ける。			
評価の方法	技術評価・授業態度・出席状況の総合的評価			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 技術編Ⅰ	事前準備（ワゴンセッティング・ベットメイク・HOT タオル 衛生面・モデル誘導等基本作業）	*デモンストレーション *実習（相モデル）	
2		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り	*デモンストレーション *実習（相モデル）	
3		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	*デモンストレーション *実習（相モデル） *手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
4		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	*デモンストレーション *実習（相モデル） *手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	

5		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
6		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
7		フェイシャルマッサージ 軽擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
8		フェイシャルマッサージ 軽擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
9		フェイシャルマッサージ 軽擦法・強擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
10		フェイシャルマッサージ 軽擦法・強擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
11		フェイシャルマッサージ 軽擦法・強擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
12		フェイシャルマッサージ 強擦法・揉擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
13		フェイシャルマッサージ 強擦法・揉擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
14		フェイシャルマッサージ 強擦法・揉擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	

15		フェイシャルマッサージ 揉撫法・打法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
16		フェイシャルマッサージ 揉撫法・打法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
17		フェイシャルマッサージ 振動法・圧迫	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
18		フェイシャルマッサージ 振動法・圧迫法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
19		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
20		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
21		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
22		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	ボディエステティック I		実習	90 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期・後期 50 コマ		担当授業時数	100 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許	
学習の目的	1:ボディエステティック技術の目的・効果を理解させ、サロンワークを行う上で必要とする基本技術を習得する。 2:人体の構造と関連付け、より効果的な技術の向上に努める。 3:サロンワークに留意し、クライアントへの気配り・心遣いを身に付けさせ衛生にも考慮する。			
指導目標	1: 全身トリートメントを行う上で知っておくべきそれぞれのトリートメントの目的・手法・効果・手技の違いやポイントについて理解する。 2: ボディエステティックに関する基礎的な知識を習得させ、エステティックの本質と現状を学び、社会的な役割と基本的な心構えを育てる。			
指 導 の 要 点 及び留意点	1:前操作、下肢後面、臀部、腰背部、腹部、胸部、上肢等の各部位に対する基本的なボディ技術を習得する。 2:サロン業務で必要とされる細やかな心遣いと所作を身に付ける。			
評価の方法	技術評価・授業態度・出席状況の総合的評価			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 技術編 I	事前準備（ワゴンセッティング ベットメイク・HOT タオル 衛生面・モデル誘導等基本作業）	*デモンストレーション *相モデル	
2		前操作	*デモンストレーション *相モデル *ベッド高さ調整・姿勢確認	
3		前操作	*デモンストレーション *相モデル *ベッド高さ調整・姿勢確認	
4		前操作・下肢後面 拭き取り	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
5		下肢後面 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	

6		下肢後面 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
7		前操作・下肢後面 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
8		前操作・下肢後面 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
9		前操作・下肢後面 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
10		下肢後面・臀部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
11		臀部・腰背部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
12		臀部・腰背部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
13		腰背部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
14		腰背部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
15		腰背部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	

16		腰背部 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
17		下肢後面・臀部・腰背部 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
18		下肢後面・臀部・腰背部 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
19		下肢前面 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
20		下肢前面 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
21		下肢前面・腹部 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
22		下肢前面・腹部 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
23		腹部・上肢 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
24		下肢前面・腹部・上肢 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
25		下肢前面・腹部・上肢 拭き取り・仕上げ	＊デモンストレーション ＊相モデル ＊体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	

26		デコルテ・頸部・頭部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
27		デコルテ・頸部・頭部 拭き取り・仕上げ	*デモンストレーション *相モデル *体重移動、リズム、連続性、力加減 密着性など基本動作を確認	
28		後面全行程（復習）	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
29		後面全行程（復習）	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
30		前面全行程（復習）	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
31		前面全行程（復習）	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
32		全身マッサージ	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
33		全身マッサージ	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
34		全身マッサージ	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
35		全身マッサージ	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
36		全身マッサージ	*相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
37		悩み別トリートメント①	*相モデル *悩み別トリートメントプラン作成 *ホームケアアドバイス	
38		悩み別トリートメント②	*相モデル *悩み別トリートメントプラン作成 *ホームケアアドバイス	

39		悩み別トリートメント③	＊相モデル ＊悩み別トリートメントプラン作成 ＊ホームケアアドバイス	
40		悩み別トリートメント④	＊相モデル ＊悩み別トリートメントプラン作成 ＊ホームケアアドバイス	
41		悩み別トリートメント⑤	＊相モデル ＊悩み別トリートメントプラン作成 ＊ホームケアアドバイス	
42		悩み別トリートメント⑥	＊相モデル ＊悩み別トリートメントプラン作成 ＊ホームケアアドバイス	
43		悩み別トリートメント⑦	＊相モデル ＊悩み別トリートメントプラン作成 ＊ホームケアアドバイス	
44		悩み別トリートメント⑧	＊相モデル ＊悩み別トリートメントプラン作成 ＊ホームケアアドバイス	
45		ボディエステティック トータルトリートメント	＊相モデル ＊タイムを計る ＊個人的課題の見直し	
46		ボディエステティック トータルトリートメント	＊相モデル ＊タイムを計る ＊個人的課題の見直し	
47		ボディエステティック トータルトリートメント	＊相モデル ＊タイムを計る ＊個人的課題の見直し	
50		ボディエステティック トータルトリートメント	＊相モデル ＊タイムを計る ＊個人的課題の見直し	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	脱毛 I	講義&実習	40 時間
配当時間	1 コマ 90 分 22 コマ	担当授業時数	44 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年
学習の目的	ワックス脱毛の効果と安全性に関する基礎、体毛の仕組みについて理解する。 ワックス脱毛技術の向上に努め、さらに使用する化粧品の成分や特徴、毛の構造や毛周期などの知識を持ち、脱毛するにあたり有効な施術が行えるようにする。		
指導目標	ワックス脱毛に基本的な毛髪学概論と技術に関する基礎的な知識を習得させる。 安全かつ手際がよい技術が行えるようにするとともに、衛生面に留意したトリートメントが行えるように指導する。 ウォームワックスとホットワックスの違いや特性を理解させる。		
指 導 の 要 点 及び留意点	各部位に対する基本的なワックス脱毛技術を確実に身につけさせる。 手指や器具の消毒等、衛生面に対する意識を高めるよう指導する。		
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	技術編 I	Lesson1 体毛について	板書&教本ライン ・毛髪学概論 ・毛の特色と分類 ・毛と毛包の構造	
2	技術編 I	Lesson1 体毛について Lesson2 ワックス脱毛概論	板書&教本ライン ・毛周期 ・脱毛の種類 ・ワックス脱毛施術の流れ ・準備（ワゴン&ベッド） ・禁忌事項、ホームケアアドバイス ・使用化粧品（成分知識）	
3	技術編 I	Lesson3 ワックス脱毛技術 ウォームワックス（膝下）	教本ライン ・ワックス脱毛の基本技術（流れ） ・ワゴン&ベッドセッティング ・衛生面 ・デモンストレーション（膝下）	
4	技術編 I	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
5	技術編 I	4 の反復	相モデルトレーニング（膝下）	

6	技術編 I	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
7	技術編 I	6 の反復	相モデルトレーニング（膝下）	
8	技術編 I	ワックス脱毛（ウォーム） 大腿部	相モデルトレーニング（大腿部）	
9	技術編 I	8 の反復	相モデルトレーニング（大腿部）	
10	技術編 I	ワックス脱毛（ウォーム） 上肢	相モデルトレーニング（上肢）	
11	技術編 I	10 の反復	相モデルトレーニング（上肢）	
12	技術編 I プリント	ホットワックス概論	板書 ・ワックス剤の種類 ・ホットワックスの特徴 ・ホットワックス施術の注意事項 ・工程&施術ポイント ・シデスコロ頭質問のポイント	
13	技術編 I	ワックス脱毛（ホット） 腋	デモンストレーション（腋） 相モデルトレーニング（腋）	
14	技術編 I	13 の反復	相モデルトレーニング（腋）	
15	技術編 I	ワックス脱毛（ホット） 腋	相モデルトレーニング（腋）	
16	技術編 I	15 の反復	相モデルトレーニング（腋）	
17	技術編 I	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
18	技術編 I	17 の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
19	技術編 I	ワックス脱毛 （ウォーム&ホット） 膝下&腋	・技術テスト対策（ポイント） 相モデルトレーニング （膝下&腋）	
20	技術編 I	19 の反復	相モデルトレーニング （膝下&腋）	
21	技術編 I	脱毛技術テスト（ウォーム） 膝下	脱毛技術テスト	
22	技術編 I	22 の反復	脱毛技術テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ベーシックメイクアップ	実習	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 33 コマ	担当授業時数	66 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験 7 年 ウエディングスタイリスト経験 1 年 美容専門学校メイク教員 10 年
学習の目的	本来持っている美しさを引き出す、ナチュラルなメイクアップを実際に表現する力を養い、感性や感覚だけのメイクアップではない、理論のもとに成り立つ基礎的なメイクアップを学びます。		
指導目標	・メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、メイクアップ検定 3 級取得をめざす ・メイクアップの技術、道具の使用方法、モデルへの接し方など、技術者のマナーを身につける ・メイクアップの技術に必要な化粧品の特徴を理解し、お客様の肌の状態を最低限の範囲で考慮し、本来もっている自然な美しさをさらに引き出せるようなメイクアップ技術を学ぶ		
指 導 の 要 点 及び留意点	肌が敏感な場合は学生自身の化粧品等を使用し、なるべく負担のないよう、できるだけ相モデルで実習を行えるよう考慮する。		
評価の方法	期末試験で 60 点以上を合格とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	テキスト	・事前準備のやり方 ・技術者の身だしなみやマナー	・道具や化粧品を機能的に配置でき、衛生的に使う方法や、お客様に対する基本的なマナーや清潔感のある身だしなみを学ぶ	
2	テキスト	・クレンジングの種類 ・スキンケアの工程	・オイルクレンジングの特徴及び手順やトーンング及びプロてくていんぐの目的やふき取りの手順を学ぶ	
3	テキスト	・ポイントクレンジング ・全体クレンジング ・スキンケアの工程	・マスカラ、リップのクレンジング方法や全体クレンジングの乳化方法を学ぶ	
4	テキスト	・ポイントクレンジング ・全体クレンジング ・スキンケアの工程	・全体クレンジング、ポイントクレンジングの復習及び、ふき取り、トーンングの特徴や注意点を学ぶ	
5	テキスト	・ベースメイクアップ ・地色とハイライトの色味 ・スポンジワーク	・モデルの肌色を見極め、適するファンデーションを選択し、スポンジテクニックを学ぶ	
6	テキスト	・ベースメイクアップ ・地色とハイライトの色味 ・スポンジワーク	・モデルの肌色に適するファンデーションを選択し、塗る際のスポンジテクニックを学ぶ	

7	テキスト	・ファンデーションの復習 ・パウダリングの目的、手順	・ファンデーションの特徴や、塗り方のテクニックを学び、パウダリングの目的や注意点を学ぶ。	
8	テキスト	・ファンデーションの復習 ・パウダリングの目的、手順 ・ポイントメイクアップ	・ベースメイクの復習やブラシの扱い方や目の周りのアイシャドーのつけ方や注意点を学ぶ	
9	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
10	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
11	テキスト	・ポイントメイクの注意点 ・カラー選択の注意点 ・アイメイクの種類	・アイシャドーのブラシワークやグラデーションの作り方や、アイラインの入れ方及び道具の選択を学ぶ	
12	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・アイブロウの描き方、種類	・アイライン、マスカラのやり方、アイブロウのシェーディングのやり方及び、効果	
13	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・アイブロウの描き方、種類	・アイライン、マスカラのやり方、アイブロウのシェーディングのやり方及び、効果	
14	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果	・アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
15	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果	・アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
16	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果 ・リップの形、印象	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
17	テキスト	・ポイントメイクアップの復習 ・チークルージュの形及び効果 ・リップの形、印象	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
18	テキスト	・ファンデーションの復習 ・ポイントメイクアップの復習 ・リップの形及び、注意点	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
19	テキスト	・ファンデーションの復習 ・ポイントメイクアップの復習 ・リップの形及び、注意点	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	
20	テキスト	・ファンデーションの復習 ・ポイントメイクアップの復習 ・リップの形及び、注意点	・アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類、及び使い方、ライン取りのテクニックを学ぶ	

21	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 - ベースメイクの仕上がり確認	
22	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 - ベースメイクの仕上がり確認	
23	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 - ベースメイクの仕上がり確認	
24	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習	・セッティングの復習及び、クレンジング 20 分で仕上げる練習 - ベースメイクの仕上がり確認	
25	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習及びリップ	・クレンジング 20 分で仕上げる練習 - ベースメイクの仕上がり確認及びポイントメイク、リップの仕上げ	
26	テキスト	・クレンジングの復習 ・ベースメイクの実習 ・アイメイクの復習及びリップ	・クレンジング 20 分で仕上げる練習 - ベースメイクの仕上がり確認及びポイントメイク、リップの仕上げ	
27	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	
28	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	
29	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	
30	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	
31	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	
32	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取り	
33	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	ベーシックネイル		実習	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 33 コマ		担当授業時数	66 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許 美容師歴 3 年 日本ネイリスト協会本部認定講師 全国美容生活衛生同業組合連合会 SBS ネイル指導講師 日本美容講師会会員 日本理容美容教育センターまつ毛エクステンション指導員資格 ストーリージェル 3 6 5 エドューケーター資格 クリストリオ社シルバーエドューケーター資格 ネイルサロン経営(15 年)	
学習の目的	JNEC 日本ネイリスト技能検定試験 3 級 ネイリストとしての基礎知識の習得 サロンワークに対応する技術の基礎とタイム管理			
指導目標	ネイルに関連する基本的な道具と使い方の理解 ネイルケア、カラーの塗布、デザインなど総合的に習得する JNEC 日本ネイリスト技能検定試験 3 級取得 検定取得に伴うネイル技術全般と、タイム管理を理解させる			
指 導 の 要 点 及び留意点	授業の準備物、内容を伝え徹底させる ネイルを通して、顧客の心理や時間の大切さ、楽しさを伝える			
評価の方法	各学年末試験によって決定 1 0 0 点満点(配点未定) 授業態度、意欲、出席も考慮対象とする			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	JNA テクニカルシステム	オリエンテーション	材料の説明 自己紹介など	
2		ネイルとは何か	ネイルについての理解	
3	P70-72	材料の説明	各名称説明	
4		材料の使用目的、方法	材料の区別、注意点	
5	P70-71	基本的なテーブルセッティング	使いやすさを目的とした配置 衛生的なセッティング確認	

6	P69-72	用具、用材と使用目的	洗浄方法と消毒衛生管理 各材料の使用方法	
7	P73-81	ネイルケアの手順	ネイルケアに必要な工程の理解	
8		消毒方法と手順	手記消毒方法の手順と汚物管理	
9		ネイルファイリング	爪の成型方法 エメリーボードの使い方と注意点	
10	P73-81	ネイルファイリング 爪の様々な形の理解	基本的な 5 種類の形を理解 正しいラウンドの削り方、揃え方	
11		ネイルケア メタルプッシャー	プッシャーの角度、強さの理解 プッシュバック、プッシュアップ	
12		ネイルケア プッシュアップ技術	ルースキューティクル、キューティクルの違い	
12		ネイルケア クリーンナップ	爪周りの汚れの処理	
14		ネイルケア ガーゼクリーン	ガーゼの使用目的	
15		ネイルケア キューティクルニッパー	持ち方、支え方	
16		ネイルケア ガーゼとニッパー	ルースキューティクルの処理方法	
17	P82-84	カラーリング 前処理と手順		
18		カラーリング 塗布方法		
19		カラーリング ブラシワーク		
20	P75	カラーリング カラー修正とポリッシュオフ		
21	P117-129	ネイルアート 用具用材と使用方法	アクリル絵の具とアートブラシの使用 方法	
22		ネイルアート 基礎知識と描き方	筆の動かし方 色々なパーツの描き方	
23		ネイルアート デザイン考案	フラワーとその他のデザイン	
24		ネイルアート タイム管理	10 分間タイムトライアル	
25		ネイリスト検定 3 級対策	タイム管理	
26		ネイリスト検定 3 級対策	手順の総確認	

27		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
28		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
29		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
30		ネイリスト検定３級対策	タイムトライアル	
31		ネイリスト検定３級対策	検定前の諸注意。説明 材料の整え	
32		定期試験	ネイリスト検定３級に準ずる	
33		定期試験	ネイリスト検定３級に準ずる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	トータルエステティック I		講義&実習		170 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 59 コマ			担当授業時数		118 時間
実務経験のある 教員科目の有無	○ 有 ・ 無		実務経験概要		CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年	
学習の目的	幅広い知識と応用技術を学び、生活環境や年齢等の異なる方の肌に触れることで、エステティシヤンスキルの高い人材を育成。また、接客業に大切なホスピタリティを学ぶことで、1 人の社会人として必要とされる社会人基礎力を高める。					
指導目標	エステティック基礎技術を基に、ストーンセラピーやタラソセラピー等、応用技術を学ばせるとともに、幅広い知識を習得させる。また、習得した応用技術を活用し、外部のお客様へエステティック施術を行うことで、より実践に近い環境で学ばせると共に、言葉遣いや心配りなど、ホスピタリティマインドも習得させる。					
指導の要点 及び留意点	お客様に喜んでいただける技術や知識向上とともに、言葉遣いや心配りなど、接客する姿勢にも留意して指導する。					
評価の方法	出席状況・授業態度					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1	プリント	ストーンセラピー理論		・ストーンセラピーとは ・ストーンセラピーの歴史 ・ストーンについて ・ストーンセラピーの効果		
2	プリント	ストーンセラピー理論		・禁忌事項 ・チャクラについて ・ストーンの浄化方法 ・準備（ワゴン&ベッド） ・ストーン準備方法		
3	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト 下肢背面		・デモンストレーション（下肢背面） ・相モデルトレーニング（下肢背面）		
4	プリント	3 の反復		・相モデルトレーニング（下肢背面）		
5	プリント	ストーンセラピー実技 下肢背面～背部		・デモンストレーション（背部） ・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）		
6	プリント	5 の反復		・相モデルトレーニング （下肢背面～背部）		

7	プリント	ストーンセラピー実技 下肢背面～背部	・相モデルトレーニング (下肢背面～背部)	
8	プリント	7の反復	・相モデルトレーニング (下肢背面～背部)	
9	プリント	ストーンセラピー実技 ストーンレイアウト 下肢前面	・デモンストレーション(下肢前面) ・相モデルトレーニング(下肢前面)	
10	プリント	9の反復	・相モデルトレーニング(下肢前面)	
11	プリント	ストーンセラピー実技 下肢前面～上肢	・デモンストレーション(上肢) ・相モデルトレーニング (下肢前面～上肢)	
12	プリント	11の反復	・相モデルトレーニング (下肢前面～上肢)	
13	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング(全身)	
14	プリント	13の反復	・相モデルトレーニング(全身)	
15	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング(全身) アロマオイルをブレンドして使用	
16	プリント	15の反復	・相モデルトレーニング(全身) アロマオイルをブレンドして使用	
17	プリント	ストーンセラピー実技 全身	・相モデルトレーニング(全身) アロマオイルをブレンドして使用	
18	プリント	17の反復	・相モデルトレーニング(全身) アロマオイルをブレンドして使用	
19	プリント	タラソセラピー概論	・生命の源「海」 ・タラソセラピーとは ・タラソセラピーの種類 ・タラソセラピーの要素 (海水、海藻)	
20	プリント	タラソセラピー概論	・タラソセラピーの要素 (海泥、海洋性気候) ・世界のスパ ・効果効能 ・禁忌事項 ・ホームケアアドバイス	
21	プリント	タラソセラピー実技 背部トリートメント	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング (背部トリートメント)	
22	プリント	21の反復	・相モデルトレーニング (背部トリートメント)	

23	プリント	21、22の反復	・相モデルトレーニング (背部トリートメント)	
24	プリント	21、22の反復	・相モデルトレーニング (背部トリートメント)	
25	プリント	タラソセラピー実技 レッグトリートメント	・デモンストレーション ・相モデルトレーニング (レッグトリートメント)	
26	プリント	25の反復	・相モデルトレーニング (レッグトリートメント)	
27	プリント	25、26の反復	・相モデルトレーニング (レッグトリートメント)	
28	プリント	25、26の反復	・相モデルトレーニング (レッグトリートメント)	
29	プリント	タラソセラピー実技 背面全身トリートメント	・相モデルトレーニング (背面全身トリートメント)	
30	プリント	タラソセラピー実技 背面全身トリートメント	・相モデルトレーニング (背面全身トリートメント)	
31		・学園祭準備	・体験コーナー ・模擬店コーナー	
32		・学園祭準備	・体験コーナー ・模擬店コーナー	
33		・学園祭準備	・体験コーナー ・模擬店コーナー	
34		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
35		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
36		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
37		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
38	プリント	スペシャル実習 ◇ショコラトリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習 (フェイシャル) ◇ショコラトリートメント	
39	プリント	38の反復	・スペシャル実習 (フェイシャル) ◇ショコラトリートメント	
40	プリント	スペシャル実習 ◇ハニートリートメント	・デモンストレーション ・スペシャル実習 (フェイシャル) ◇ハニートリートメント	
41	プリント	40の反復	・スペシャル実習 (フェイシャル) ◇ハニートリートメント	

42	プリント	スペシャル実習 ◇背中スパトリートメント ◇ポリネシアンテクニック	・デモンストレーション ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
43	プリント	4 2 の反復	・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
44	プリント	4 2、4 3 の反復	・相モデルトレーニング ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
45	プリント	4 2、4 3 の反復	・相モデルトレーニング ・スペシャル実習（背中） ◇背中スパトリートメント ※ロミロミ風マッサージテクニック	
46	センター筆記 試験例題集 理論編 I	筆記試験対策 ◇フェイシャル実技理論	解説&解答 ・フェイシャル実技理論 （プリント使用）	
47	センター筆記 試験例題集 理論編 I	筆記試験対策 ◇フェイシャル実技理論	解説&解答 ・フェイシャル実技理論 （プリント使用）	
48	センター筆記 試験例題集 理論編 I	筆記試験対策 ◇ボディ実技理論	解説&解答 ・ボディ実技理論 （プリント使用）	
49	センター筆記 試験例題集 理論編 I	筆記試験対策 ◇ボディ実技理論	解説&解答 ・ボディ実技理論 （プリント使用）	
50	センター筆記 試験例題集 理論編 I	筆記試験対策 ◇ワックス脱毛実技理論	解説&解答 ・ワックス脱毛実技理論 （プリント使用）	
51	プリント 練習問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題①②	プリント練習問題①②使用 ・100問×2パターン模擬試験 ・解答&解説	
52	プリント 練習問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題③④	プリント練習問題③④使用 ・100問×2パターン模擬試験 ・解答&解説	
53	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 練習問題⑤ 過去問題	プリント練習問題⑤使用 プリント過去問題使用 ・100問×2パターン模擬試験 ・解答&解説	

54	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題 （練習問題①～⑤復習）	プリント過去問題使用 ・ 100問×2パターン模擬試験 ・ 解答＆解説（試験対策）	
55	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題 （練習問題①～⑤復習）	プリント過去問題使用 ・ 100問×2パターン模擬試験 ・ 解答＆解説（試験対策）	
56	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・ 100問×2パターン模擬試験 ・ 解答＆解説（試験対策）	
57	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・ 100問×2パターン模擬試験 ・ 解答＆解説（試験対策）	
58	プリント 練習問題 過去問題	筆記試験対策（模擬試験） 過去問題＆練習問題	プリントランダム選択 ・ 100問×2パターン模擬試験 ・ 解答＆解説（試験対策）	
59		インターンシップに向けた指導	各業界のResearchを行うと共に、 インターンシップの目的を理解させる	

教課指導案(シラバス)

教課指導案(シラバス)				校長	副校長	課長	担当教員
令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法		総授業時数		
	トータルエステティックⅠ（フェイシャル理論）		講義		170 時間		
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 5 コマ			担当授業時数		10 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要		認定エステティシャン 歴 15 年		
学習の目的	エステティックに関する基礎知識と、エステティックの本質となる「ソワンエステティック」について理解し、エステティシャンとして社会で働くうえで基礎的な心遣いを学ぶ。法令遵守の必要性を学び、実践することを理解させる。						
指導目標	1、エステティックとは何か、エステティック業界の統一自主基準を理解させ、医療行為とは異なることを理解させる。 2、顔の筋肉やリンパ節の位置を理解させ、安全に施術が行えるよう知識を深める。						
指 導 の 要 点 及び留意点	日本におけるエステティックでは医療行為はできないことを理解させる。 フェイシャルエステティックのできる範囲をしっかりと理解させる。						
評価の方法	授業態度 筆記試験：100 点満点（配分未定） 予定						
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価							
No.	教科書・教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等	
1	新エステティック学 技術編Ⅰ P7～22	Lesson1～Lesson 4 フェイシャルエステティックとは		フェイシャルエステティックとは何かを理解させる。トリートメントの流れを理解させる。			
2	新エステティック学 技術編Ⅰ P23～32	Lesson 5 エステティック機器について		エステティック機器の種類と使用方法、目的、禁忌事項を理解させる。			
3	新エステティック学 技術編Ⅰ P33～48	Lesson 6 フェイシャルマッサージ		基本手技の手法、効果、作用を理解させる。リンパや筋肉の名称を覚える。			
4	プリント	フェイシャル実技理論練習問題 解答、解説		練習問題を実施し、理解を深める。			
5	プリント	フェイシャル実技理論 解答、解説		練習問題の解答、解説を行うことで理解を深め、できなかったところの復習をする。			

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	トータルエステティック I		実習	170 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 10 コマ		担当授業時数	20 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	認定エステティシャン・経験 15 年	
学習の目的	1、アロマ精油のブレンド方法を理解する。 2、体調に合わせてアロマオイルをブレンドし、使用することで効果を実感する。			
指導目標	1、アロマ精油を安全に使用する。 2、同じ精油ブレンドによって香りが変わることを実感する。			
指 導 の 要 点 及び留意点	1、お客様への細やかな心遣いを常に意識させる。 2、モデルになり施術を受けるている間も眠ることなく、お客様の立場に立った感覚を 理解させる。 3、施術中の姿勢も乱れることがないように、意識させる。			
評価の方法	授業態度 実技試験：100 点満点予定			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編 I	体調に合わせて精油をブレンドし、施術前と後の効果を実感する。	力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
2	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編 I	体調に合わせて精油をブレンドし、施術前と後の効果を実感する。	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
3	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編 I	前回と違うブレンドで精油を使用し、香りの違いと効果を実感する。	力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
4	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編 I	前回と違うブレンドで精油を使用し、香りの違いと効果を実感する。	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
5	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編 I	体調に合わせて精油をブレンドし、施術前と後の効果を実感する。	力加減や、手の密着に注意しながら行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	

6	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編Ⅰ	体調に合わせて精油をブレンドし、施術前と後の効果を実感する。	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら 行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
7	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編Ⅰ	前回と違うブレンドで精油を使用し、香りの違いと効果を実感する。	力加減や、手の密着に注意しながら 行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
8	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編Ⅰ	前回と違うブレンドで精油を使用し、香りの違いと効果を実感する。	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら 行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
9	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編Ⅰ	好きな香りで精油を使用し、香りの違いと効果を実感する。	力加減や、手の密着に注意しながら 行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	
10	アロマセラピー検定 新エステティック学 技術編Ⅰ	好きな香りで精油を使用し、香りの違いと効果を実感する。	相モデルで手順確認 力加減や、手の密着に注意しながら 行えるように指導する。 リラクゼーションを目的とする。	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目		授業方法	総授業時数
	トータルエステティックⅠ (タイ古式)		実習	170 時間
配当時間	1 コマ 90 分	前・後期 10 コマ	担当授業時数	20 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン 子育て支援センター育児講座講師	
学習の目的	東洋医学の歴史や、仏教との関わりについても理解し、代替医療、予防医学としても大きな役割を果たしている「タイ古式マッサージ」について学び、基本的な施術ができるようになることを目的とする。			
指導目標	東洋医学の一つであるタイ王国の伝統医学として現代においても様々なマッサージ、エステティックケアのベースとしても応用される「タイ古式マッサージ」をその歴史と、施術法について学び、「タイ古式マッサージ」の基本手技を用いた施術ができるように指導する。			
指導の要点 及び留意点	授業は講義と実技演習などを中心とする。相モデルを組み、施術者側、モデル側双方の立場になり、それぞれの立場に立って学生自らより良い技能を工夫できる授業を展開していく。			
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	プリント	タイ古式マッサージについて	講義	
2	プリント	注意事項 1、横向き	講義 デモンストレーション 実技練習	
3	プリント	1、横向き 復習	実技練習	
4	プリント	2、うつ伏せ	デモンストレーション 実技練習	
5	プリント	3、仰向け	デモンストレーション 実技練習	
6	プリント	4、あぐら座り～終了	デモンストレーション 実技練習	
7	プリント	トータル練習①	実技練習	
8	プリント	トータル練習②	実技練習	
9	プリント	実技テスト練習	実技練習	
10		テスト	実技テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度	科 目		授業方法	総授業時数
1 年生	ウェディングプランナー論		講義	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 13 コマ・後期 20 コマ		担当授業時数	66 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ウェディングプランナー実務経験 11 年	
学習の目的	1. ブライダルの基礎知識の習得 2. ブライダルコーディネーターに必要な知識と能力の習得 3. ブライダルコーディネート国家技能検定 3 級学科・実技試験合格			
指導目標	1. ブライダルコーディネーターとしての基本的な知識を身に付ける 2. 実践で役立つ基礎知識を身に付ける 3. ブライダルコーディネート国家技能検定 3 級学科試験合格できる知識の習得			
指導の要点 及び留意点	1. 国家検定を見据えた指導 2. テキストのみではなく資料や映像を使用し、理解力を深める授業を実施する 3. 国家検定 3 級学科・実技試験対策のため、予想問題を多く作成する			
評価の方法	・授業態度、出欠席、項目別確認テスト、期末テストの総合評価とする			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	BIA テキスト (スタンダード) Power Point	Lesson3 ブライダルの基礎知識 4 章 挙式 7 章 人前式 8 章 シビル・マリッジ	・学習後、2 人 1 組になりアウトプットの 時間を設ける	
2	BIA テキスト (スタンダード) Power Point 神前式 DVD	5 章 神前式 6 章 仏前式	・学習後、2 人 1 組になりアウトプットの 時間を設ける	
3	BIA テキスト (スタンダード) Power Point	9 章 披露宴 10 章 海外ウェディング・新婚旅行 11 章 二次会	・学習後、2 人 1 組になりアウトプットの 時間を設ける	
4	BIA テキスト (スタンダード)	Lesson3 4 章～11 章まで復習 予想問題実施	・復習後、確認テスト実施 ・解答と解説	
5	BIA テキスト (スタンダード) Power Point	Lesson1 結婚とは 1 章 結婚の定義 2 章 日本の結婚式 歴史と文化	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説	
6	BIA テキスト (スタンダード) Power Point	Lesson2 ブライダルビジネス 1 章 ブライダル市場～ 3 章 6 章 ブライダル業界の 1 年	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説	

7	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	Lesson3 ブライダル基礎 1章 見合いと婚約 2章 結納・婚約式 3章 ブライダルの準備	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説	
8	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	Lesson3 1章～2章まで復習 予想問題作成	・結納品を使用し、アイテムと意味を再確認する ・予想問題を自作させる	
9	BIAテキスト (スタンダード)	Lesson1～3 復習後、複合テスト実施	・解答と解説	
10	BIAテキスト (スタンダード)	ブライダル用語問題ゲーム実施	・2グループに分かれ、ここまで学習した範囲のブライダル用語を出題し解答するゲームを実施	
11	〃 パソコン(携帯)使用	Lesson4 コーディネーター業務(新規～成約まで) 1章～3章	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説 ・素敵なWPの姿(外見)調査	
12	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	4章～6章 ホスピタリティ営業 プランニング プレゼンテーションの手法	・学習後、Lesson4 1章～6章テスト実施 ・解答と解説	
13	BIAテキスト (スタンダード) Power Point 婚礼申込書	7章～9章 新規アフターフォロー 成約業務 ペーパーワーク	・学習後、婚礼申込書記入し内容の理解を深める	
14	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	Lesson5 打合せ業務 1章 成約時から初回打ち合わせ 2章～4章 中間～最終打ち合わせ～当日	・学習後、スケジュール表作成 ・成約業務のプレゼン実施	
15	BIAテキスト 作成資料 衣装	Lesson6 コンセプトシートに基づいた ブライダルアイテムの選定 1章 コーディネート 衣装選定	・学習後、ドレスルームにて衣装・衣装小物の形・種類確認	
16	BIAテキスト (スタンダード) Power Point ブーケ	3章 ブーケ・フラワーアイテムの選定 2章 4章 ヘアメイク、ネイルアート	・学習後、ドレスルームにてブーケの形・種類確認 ・衣装・フラワーテスト実施 ・解答と解説	
17	BIAテキスト (スタンダード) Power Point 招待状	5章 会場コーディネート 6章 テーブルコーディネート ペーパーアイテム	・学習後、招待状デザイン紹介	
18	〃 パソコン使用	7章 料理、飲物 8章 披露宴の基本演出	・皿・グラス等、実物を確認 ・テキストに掲載以外の演出を調べる	

		9章 10章 披露宴の演出プラン		
19	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	11章 引出物・引菓子 12章 記録・記念アイテム	・学習後、8章～9章 テスト実施 ・解答と解説	
20	// 招待状・席次	Lesson7 手配業務 ペーパーアイテムの手配	・学習後、招待状・席次表作成ルールを伝える	
21	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	1章 ヘアメイク、着付けの手配 2章 挙式・披露宴の演出手配 3章 引出物・引菓子の手配 4章 記録・記念アイテムの手配 5章 装花の手配		
22	// 進行表	Lesson8 当日業務 1章 結婚式・披露宴当日の役割 6章 挙式・披露宴進行表	・学習の後、進行表共有	
23	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	2章 3章 当日のアテンド業務	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説	
24	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	4章 テーブルセッティング	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説	
25	BIAテキスト (スタンダード) Power Point	5章 当日のサービス業務 6章 花の管理と出回り時期	・学習後、確認テスト実施 ・解答と解説	
26	BIAテキスト (スタンダード)	総合テスト（学科過去問題）実施	・解答と解説	
27	BIAテキスト (スタンダード)	総合テスト（学科過去問題）実施	・解答と解説	
28	BIAテキスト (スタンダード)	総合テスト（学科過去問題）実施	・解答と解説	
29	BIAテキスト (スタンダード)	実技予想問題実施	・解答と解説	
30	BIAテキスト (スタンダード)	実技予想問題実施	・解答と解説	
31	BIAテキスト (スタンダード)	実技予想問題実施	・解答と解説	
32	BIAテキスト (スタンダード)	総合テスト（学科過去問題）実施	・解答と解説	
33	BIAテキスト (スタンダード)	実技予想問題実施	・解答と解説	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	レストランサービス実務	講義	45 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 10 コマ・後期 15 コマ	担当授業時数	50 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ウェディングプランナー実務経験 11 年
学習の目的	・ レストランサービス技能検定 3 級の取得 ・ レストランサービスに必要なスキルを理解し、酒類の知識や安全衛生・設備管理に関する知識を習得する		
指導目標	レストランサービス技能検定の必要性を明確にし、検定に合格する事 1. 食材、料飲等の基礎知識習得 2. 食文化、及び食品衛生及び公衆衛生知識習得 3. プロトコールにおける国際習慣		
指 導 の 要 点 及び留意点	1. ホテルレストラン、ブライダルに必要な料飲知識の習得 2. 検定に向けての注意事項、基本知識を身に付ける		
評価の方法	期末テスト 60 点以上 授業態度、出席率、小テスト等の総合評価とする		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価
1	PowerPoint	オリエンテーション 第 1 章 食材・料飲等の基礎知識	レストランサービスの必要性 (ブライダル、ホテル、レストラン) 第 1 節 食品	授業 態度
2	教科書	第 1 章 食材・料飲等の基礎知識	第 1 節 食品の加工 食品の貯蔵	
3	教科書 プリント	第 1 章 食材・料飲等の基礎知識 小テスト	第 1 節 西洋料理食材 前菜 魚類 甲殻類 スープ	
4	教科書	第 1 章 食材・料飲等の基礎知識	第 2 節 家禽類 牛肉 子牛肉 豚肉 野鳥獣肉	
5	教科書	復習 第 1 章 1 節～2 節	検定対策復習課題	
6	教科書	第 1 章 食材・料飲等の基礎知識	第 2 節 野菜類 パスタ チーズ デザート	
7	教科書	第 1 章 食材・料飲等の基礎知識	第 2 節 西洋料理調理法 料理法	

		小テスト	新しい調理法	
8	教科書	第1章 食材・料飲等の基礎知識	第3節 飲料の種類及び特徴 ワイン分類 ブドウの品種 産地の特徴	
9	教科書	第1章 食材・料飲等の基礎知識	第4節 アルコール ビール スピリッツ ジン ウォッカ ラム	
10	教科書	復習 第1章 2節～4節	検定対策復習課題	
11	教科書	第1章 食材・料飲等の基礎知識	第4節 メニュー歴史 作成規則 構成	
12	教科書	第1章 食材・料飲等の基礎知識	第5節 西洋料理の食事用具 銀食器 陶器 ガラス容器	
13	教科書	第2章 接客の基本	第1節 サービスの役割 ～第4節サービスを支える条件	
14	教科書	第3章 宴会レストランサービス	第1節 宴会の種類及び内容 各種宴会等のセッティング	
15	教科書	復習 第1章～3章 1節	検定対策復習課題	プリント
16	教科書	第3章 宴会レストランサービス	第2節 レストラン 第3節 客席案内	
17	教科書	第3章 宴会レストランサービス	第4節 注文 第5節 テーブルサービス 第6節 調理の仕上げ	
18	教科書	第3章 宴会レストランサービス	第7節 調理仕上げ2 第8節 予約 解約	
19	教科書	第3章 宴会レストランサービス	第9節 料理食器の異常 第10節 食事のマナー	
20	教科書	復習 3章 2節～11節	検定対策復習課題	

21	教科書	第 3 章 宴会レストランサービス	第 11 節食事の国際週間 第 12 節食事のマナー	
22 23 24 25	プリント	検定対策問題	検定対策復習課題	プリント

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック理論	講義	20 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期・後期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許
学習の目的	AJESTHE 認定フェイシャル資格取得のためエステティック理論を学び資格試験合格を目指す。		
指導目標	エステティック全般の基礎的な知識と技術（手法・効果）を理論的に理解する。		
指 導 の 要 点 及び留意点	要点をまとめ効率的な指導を行う。学生の自主的な学習を促す。		
評価の方法	出席状況・授業態度・筆記試験の結果を考慮し総合評価とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	理解と技術	Chapter1/2 エステティックとは/ ホメオスタシスとストレス	講義（教科書・プリント・資料）	
2	理解と技術	Chapter3 身体のしくみと働き I	講義（教科書・プリント・資料）	
3	理解と技術	Chapter5 皮膚のしくみと働き I	講義（教科書・プリント・資料）	
4	理解と技術	Chapter6 皮膚のしくみと働き 2	講義（教科書・プリント・資料）	
5	理解と技術	Chapter7/8 エステティックカウンセリング 化粧品の種類と働き	講義（教科書・プリント・資料）	
6	理解と技術	Chapter9 栄養の知識	講義（教科書・プリント・資料）	
7	理解と技術	Chapter10 衛生と消毒	講義（教科書・プリント・資料）	
8	理解と技術	Chapter11/13 エステティックの基礎知識 フェイシャルエステティック	講義（教科書・プリント・資料）	
9	理解と技術	まとめ	教科書・プリント・資料	
10	理解と技術	試験対策	教科書・プリント・資料	
11	理解と技術	試験対策	教科書・プリント・資料	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	ブライダルゼミ		講義	30 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 3 コマ・後期 9 コマ		担当授業時数	34 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	ウェディングプランナー実務経験 11 年	
学習の目的	1. 専門知識を活かして研究する 2. 相手に自分の考えを伝えることの重要性を理解する 2. 他の人の意見やプレゼンテーションの仕方から様々な学びを得る			
指導目標	1. 資料の調べ方やまとめ方、発表の仕方を理解し、身に付ける 2. プレゼンテーション能力を身に付ける			
指 導 の 要 点 及び留意点	1. パワーポイントの作成方法や見せ方の工夫を指導 2. 言い回しや抑揚を意識し、相手に伝わるプレゼンテーションを身に付ける			
評価の方法	・ 学期末試験（プレゼンテーション） 60 点以上を合格とする。 ・ 授業態度、出欠席			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	資料 Power Point	ブライダルゼミ概要説明 学生の過去作品紹介 PowerPoint の使い方、資料の作り方 レクチャー	過去の作品紹介をし、進め方のポイントを確認する レクチャー後、実際に操作する	
2 3 4	パソコン	テーマに沿った予行演習	2 グループに分かれ研究を行う	
5 6	パソコン	プレゼンテーションの仕方 レクチャー プレゼン練習	動画で良いプレゼンテーションを鑑賞し、ポイントを説明する。 グループごとにプレゼン練習実施。 スライドの修正を行う。	
7	パソコン	プレゼン発表	プレゼン後、フィードバック	
8	パソコン	発表テーマの検討、制作開始	各自発表テーマの候補を 3 つ以上出し、理由もまとめる。	
9 10 11 12 13 14	パソコン 資料	ゼミ発表作品制作	内容確認は随時。フィードバックを行い、スライド修正をする。	
15 16	パソコン	プレゼン練習	他の人のプレゼンに対して、学生同士でフィードバックをさせる	

17	パソコン	ゼミ発表本番		
----	------	--------	--	--

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	コンピューターサービス		講義	45 時間
配当時間	1 コマ 9 0 分 前期・後期 25 コマ		担当授業時数	50 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	パソコンインストラクター歴 20 年 マイクロソフトスペシャリスト 2000 word Excel マイクロソフトスペシャリストエキスパート 2010 Excel	
学習の目的	●正確でより速い文字入力スキルを身に着ける●パソコンを効率的に操作するための Windows の基本知識●Word でのビジネス文章作成、表作成、グラフィック機能を使って視覚に訴える文章作り●Excel での表の作成方法、処理能力をアップする表計算機能、データを視覚化するグラフ機能、データ管理するためのデータベース機能を習得し効率的なデータ処理をする●MOS Word Excel2019 を取得するための基礎知識を習得			
指導目標	MOS Word 2019 MOS Excel 2019 の取得 Word や Excel の機能や特徴を知ることにより事務作業を効率的に出来るようになる。			
指導の要点 及び留意点	授業を積極的に受講する生徒を起点にクラス全体に学習意欲の高まりが波及していくような雰囲気作りを行う			
評価の方法	授業態度・提出物等の評価 2 0 % 定期試験の評価 8 0 % 提出物と定期試験の合計で評価を出す。			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	Word2019 基礎データ配布	Word 基礎	ブラインドタッチ練習① Windows 基本知識①Word の基礎知識	
2	Excel2019 基礎データ配布	Excel 基礎	Excel の基礎知識 データの入力・編集	
3	Word2019 基礎	Word 基礎	ブラインドタッチ練習② Windows 基本知識②文書の作成	
4	Excel2019 基礎	Excel 基礎	表の作成	
5	Word2019 基礎	Word 基礎	ブラインドタッチ練習③ Windows 基本知識③ 表の作成	
6	Excel2019 基礎	Excel 基礎	表の作成 2	
7	Word2019 基礎	Word 基礎	ブラインドタッチ練習④ 文書の編集	
8	Excel2019 基礎	Excel 基礎	数式の入力	

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
9	Word2019 基礎	Word 基礎	ブラインドタッチ練習⑤ 表現力をアップする機能	
10	Excel2019 基礎	Excel 基礎	複数シートの操作	
11	Word2019 基礎	Word 基礎	ブラインドタッチ練習⑥ 表現力をアップする機能②便利な機能	
12	Excel2019 基礎	Excel 基礎	表の印刷	
13	Excel2019 基礎	Excel 基礎	ブラインドタッチ練習⑦ グラフの作成	
			前期期末テスト	
14	Excel2019 基礎	Excel 基礎	データベースの利用 便利な機能	
15	Word2019 基礎 Excel2019 基礎	Word Excel の総合練習	Word Excel の総合問題を解く	
16	Word2019 基礎 Excel2019 基礎	Word Excel の総合練習	Word Excel の総合問題を解く	
17	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	ワークシートやブックの管理	
18	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	ワークシートやブックの管理 2	
19	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	セルやセル範囲のデータの管理	
20	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	セルやセル範囲のデータの管理 2	
21	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	テーブルとテーブルのデータ管理	
22	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	数式や関数を使用した演算の実行	
23	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	数式や関数を使用した演算の実行 2	
24	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	グラフの管理	
25	MOS Excel 2019 テキスト	MOS Excel2019 試験対策	MOS Excel2019 試験対策復習 模擬試験インストール	
			後期期末テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	キャリアデザイン		講義	30 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 7 コマ・後期 10 コマ		担当授業時数	34 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	ウェディングプランナー実務経験 11 年
学習の目的	1. 理想のキャリアデザインを明確にした上で、キャリアを実現するための方法を具体的に 2. 社会人としてありたい将来像を捉え、経験やスキルを考えながら将来像に向けて行 動できるきっかけを作る 3. 自分自身と向き合い、己を知り、理解をした上で自分にとっての価値を見つける			
指導目標	1. 自分自身の強み・弱み・能力・スキルを確認し、足りていない部分をどのように改 善するかを明確にする 2. 現状との差を埋めるためにどうするか具体的に			
指 導 の 要 点 及び留意点	1. コミュニケーション力（周囲の意見をよく聞き自分の意見も主張できる） 2. 自己管理能力（周囲の人の中で自分の強みを発揮することができる） 3. 問題解決力（客観的な事実に基づき、本質を見極められる） 1～3 を軸に目標実現に向け計画を練る力を身に付けるよう指導			
評価の方法	授業態度、出欠席			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	資料	キャリアデザイン進め方 心構え 就職活動スケジュール共有 「働く」とは① 「働く」とは②	「自己理解」「仕事理解」「仕事選択」 個人ワーク グループにて意見共有⇒感想記入	
2	資料	私の履歴書 3 人の石切職人の話 成功の方程式	「働くことの方程式」	
3	資料	自己理解 ～私の大切なもの～	個人ワーク グループにて意見共有⇒感想記入	
4	資料	自己理解 ～私と仕事～S 君の話から	個人ワーク グループにて意見共有⇒感想記入	
5	資料	自己理解 ～心の 4 つの窓～	個人ワーク グループにて意見共有	
6	資料	仕事理解		

		～職業カード実習～	個人ワーク グループにて意見共有	
7	資料	仕事理解 ～職業カード実習～	グループにて意見共有⇒感想記入	
8	資料	仕事選択 ～就職希望先～	個人ワーク	
9	資料	仕事選択 ～未来へ向けて～ 企業研究～今後の予定～	個人ワーク グループにて意見共有	
10	資料	企業研究 ～企業・会社とは～	個人ワーク グループにて意見共有	
11	資料	企業研究 ～待遇・勤務形態～	求人票の見方についてポイントを伝える	
12	資料	企業研究 エントリーシートについて	エントリーシート記入の注意点・ポイントについて説明後、エントリーシート作成	
13	資料	企業研究 ～履歴書に書き方～	履歴書記入の注意点・ポイントについて説明後、履歴書記入	
14	資料	企業研究 ～自己 PR の書き方～	自己 PR を考える	
15	資料	企業研究 ～特技の書き方～	特技を書き出す	
16	資料	面接についての心構え・服装		
17	資料 パソコン	企業研究	興味がある企業を調べ、シートにまとめる	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法		総授業時数	
	ウェディング実習		実習		90 時間	
配当時間	1 コマ 90 分 前期：25 コマ 後期：25 コマ			担当授業時数	100 時間	
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無		実務経験概要	ウェディングプランナー経験 11 年		
学習の目的	1. ブライダルの仕事の基礎知識を学び、実践力を身に付ける 2. グループで協力し、ブライダルを作り上げる思考力・提案力・協調性を養う					
指導目標	1. ブライダルの仕事の基礎を身に付け顧客のニーズに対応できる人材を育成する 2. インターンシップで活かせる実践力をつける 3. ひとつのブライダルを作り、コーディネートをする発想力、提案力を身に付ける 4. オペレーション能力を身に付ける					
指 導 の 要 点 及び留意点	1. 即戦力へと繋がる具体的な指導を行う 2. 皆で協力し、ブライダルを創る過程を体験させ、達成感を得る					
評価の方法	・ 授業態度、出席率 ・ 発表内容など					
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価						
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）		学 習 活 動		評価等
1		実習室案内		物品の場所確認 カラークロスの畳み方・その他アイテムの片付け方指導		
2 3 4 5 6 7	BIA テキスト (スタンダード)	キリスト教式について		キリスト教式の基礎、・流れを理解し、それぞれの役割を実践		
8 9	BIA テキスト (スタンダード)	模擬挙式・披露宴参加		2 年生主体の模擬挙式・披露宴に参加⇒感想記入		
10 11 12 13	BIA テキスト (スタンダード)	キリスト教式について		キリスト教式の基礎、・流れを理解し、それぞれの役割を実践		
14 15	BIA テキスト (スタンダード) DVD	神前式について		DVD 鑑賞後、神前式の基礎、・流れを復習し、それぞれの役割を実践		
16 17	BIA テキスト (スタンダード)	神前式について		それぞれの役割でロープレ実施		
18	BIA テキスト	人前式について		人前式の基礎、流れを理解し、それ		

19 20	(スタンダード)		それぞれの役割を実践	
21 22	式次第	披露宴について	役割決定後、ローテーションで披露宴の流れを実践	
23 24 25 26 27 28	〃	〃	〃	
29 30 31 32 33 34	プリント パソコン BIA テキスト (スタンダード)	結婚式プランニング	架空の新郎新婦のプロフィールを基にプランニングを行う	
35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47		模擬挙式・披露宴創り	模擬挙式・披露宴のロープレイングを実施	
48 49	BIA テキスト (スタンダード)	模擬挙式・披露宴実施	WHAT12 期生をゲストに迎え、実施	
50	BIA テキスト (スタンダード)	模擬挙式・披露宴振り返り	各自、振り返りを行い改善点をまとめる。→全体共有	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	レストランサービス実習		実習	6 0 時間
配当時間	1 コマ 9 0 分 前・後期 3 3 コマ		担当授業時数	6 6 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	レストランサービス技能検定 3 級 ホテル・レストラン経験 7 年	
学習の目的	インターンシップバンケット部門での必要な技術の取得 レストランサービス技能検定 3 級の取得			
指導目標	レストランサービス技能検定の必要性を明確にし、合格する事 レストランサービスの基礎技術習得			
指 導 の 要 点 及び留意点	一、サービス接遇の基本的姿勢理解及び実践 二、インターンシップに向けての注意事項、基本知識 三、検定に向けての注意事項、基本知識			
評価の方法	期末テスト 6 0 点以上 レストランサービス検定 実技不合格者は期末テスト点数より大幅減点する			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価
1	備品 教科書	会場内備品説明、取扱方 第1章 知識編 Lesson 1 1	レストランサービスとは トレンチの使い方	授業 態度
2	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1 ～ 3	接客の基本 シルバー用途の説明 正しい姿勢	
3	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 4	シルバー、プレート、グラスの 取扱と管理、吹き方	
4	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1 2	プレートサービス 皿の持ち方、下げ方 お客様対応	
5	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1 5 ～ 1 6	サーバーの使い方 パンサービス ドリンク持ち方 瓶ビール運び方	
6	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 5 ～ 6	レストラン・宴会セッティング クロスのかけ方	
7	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 8 ～ 9	朝食技法 セッティング～片づけ	
8	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 8 ～ 9	ランチ技法 セッティング～片づけ	

9	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 8～9	ディナー技法 セッティング～片づけ	
10	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1～9	復習 即戦力になるため1	
11	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1～9	復習 即戦力になるため2	
12	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1～9	復習 即戦力になるため3	
13	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 7	テーブルナプキンの折り方 ホテル・式場の使い分け	
14	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1 3	テーブルマナー 1	
15	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1 3	テーブルマナー 2	
16	備品 教科書	第1章 知識編 Lesson 1 3	テーブルマナー 3	
17	備品 教科書	第1章 知識編 検定対策	お客さまお迎え 着席補助 メニュー表示	
18	備品 教科書	第1章 知識編 検定対策	水のサービス オーダーテイク シルバー交換	
19	備品 教科書	第1章 知識編 検定対策	ドリンクサービス 料理サービス 料理下げ	
20 ～ 32	備品 教科書	第1章 知識編 検定対策 通し練習 オレンジカッティング ワイン抜栓 コーヒー	お見送り リセット	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ブライダルファッション	実習	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 33 コマ	担当授業時数	66 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ブライダル美容実務8年
学習の目的	ブライダルファッション業界において必要な衣装選択の基準及び洋装、和装の種類と調達方法を理解し、フィッティング・着付け技術を習得する。		
指導目標	1. ブライダルファッション（洋装・和装）のスタイリング・着付け、フィッティング、メンテナンスの基礎的知識と技術を習得させる。 2. 技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3. 現場の即戦力となれる様、提案力、コーディネートセンス、補正技術を身に付けさせる。		
指導の要点 及び留意点	基礎的なブライダルファッション・着付け用語を理解させると共にシーン別に的確な衣裳コーディネート・着付けが出来る技術を習得させる。		
評価の方法	・学期末試験成績：100点満点（配点未定）予定 ・授業態度及び出席率		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1		・ドレスの種類 ・ラインとイメージ	・画像による視覚的学習 ・実物教授	
2		・ネックライン ・スリーブ ・トレース ・生地と素材	・画像による視覚的学習 ・実物教授	
3		・ベール ・ヘッドドレス ・アクセサリー ・インナー、シューズ	・画像による視覚的学習 ・実物教授	
4		・男性洋装 ・女性和装 ・男性和装	・画像による視覚的学習 ・実物教授	
5		・インナーフィッティング	・インナー選択の説明・トルソーでの展示 ・相モデルでのサイズ別フィッティングの実習	
6		・ドレスフィッティング （A・プリンセス・スレンダー・マーメイドライン）	・パニエ選択の説明・トルソーでの展示 ・相モデルでのフィッティング実習	

7		・タキシードフittings	・衣裳小物の説明・トルソーでの展示 ・相モデルでのフittings実習	
8		・着付け事前準備	・技術者の身だしなみ、マナー、用具の名称、用途、着物の部位の名称の説明	
9		・たたみ方 ・肌着、裾よけ、体型補整	・準備、補正技術の展示と実習	
10		・浴衣着付け	・補正、浴衣着付けの展示と実習	
11		・浴衣着付け ・帯結び（文庫）	・文庫結びの展示と実習 ・帯結びアレンジの展示	
12		・小紋着付け	・小紋と袋帯、小物の説明と技術展示	
13		・補正の作成	・ガーゼ補正の作成方法の実習 ・タオル補正のたたみ方の実習	
14		・小紋着付け	・補正の展示と実習 ・長襦袢着付けの展示と実習	
15		・小紋着付け	・小紋着付けの展示と実習	
16		・小紋着付け	・帯結び（二重太鼓）の展示と実習	
17		・小紋着付け	・補正～仕上げまでの実習	
18		・小紋着付け（タイム設定）	・補正～仕上げまでの実習	
19		・陳列方法	・ハンガーの掛け方 ・小物の管理	
20		・衣装補正	・脇を詰める（本返し縫い） ・裾を上げる（まつり縫い・千鳥がけ）	
21		・衣装、和装補正	・ボタン付け ・ループ作り ・半襟付け（点縫い）	
22		・衣装メンテナンス	・アイロンがけ ・スチームアイロン	
23	プリント	・ヘアメイクデッサン	・ナチュラルヘアメイクの要点説明 ・デッサンの描き方の展示と実習	
24	プリント	・ヘアメイクデッサン	・キュートヘアメイクの要点説明 ・デッサンの描き方の展示と実習	
25	プリント	・ヘアメイクデッサン	・エレガントヘアメイクの要点説明 ・デッサンの描き方の展示と実習	
26	プリント	・ヘアメイクデッサン	・クールヘアメイクの要点説明 ・デッサンの描き方の展示と実習	

27	参考資料	・イメージマッピング	・WDのイメージ別コラージュ作成	
28	参考資料	・イメージマッピング	・CDのイメージ別コラージュ作成	
29	参考資料	・イメージマッピング	・イメージ別コラージュ作成	
30	プリント	・ウエディングカルテ	・カウンセリングの行い方の板書と説明 ・相モデルでのカウンセリング実習	
31	プリント	・ウエディングカルテ	・カウンセリングの行い方の板書と説明 ・相モデルでのカウンセリング実習	
32	プリント	・ウエディングカルテ	・カウンセリングの行い方の板書と説明 ・相モデルでのカウンセリング実習	
33	プリント	・ウエディングカルテ	・カウンセリングの行い方の板書と説明 ・相モデルでのカウンセリング実習	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	ブライダルビューティー	実習	90 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前・後期 50 コマ	担当授業時数	100 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ブライダル美容実務8年
学習の目的	ブライダルビューティーの基本的知識を理解し、ブライダル美容業界で即戦力として活躍できる技術を習得する。		
指導目標	1. ウエディングスタイリストに必要な美容知識、技術を習得させる。 2. 技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3. 現場の即戦力となれる様、ウエディングスタイリストとして必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。		
指導の要点 及び留意点	基本的なブライダル美容技術を習得させると共に、ブライダル美容業界における消費者ニーズに即した流行のスタイルを理解させ、技術に反映させる。また、相モデルが不可な事由が起きた際にはウィッグにて行う。		
評価の方法	・ 学期末試験成績：100点満点（配点未定）予定 ・ 授業態度及び出席率		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1		・ブライダルヘア (十字ブロッキング・一束)	・ブロッキングの展示と実習 ・一束の展示と実習	
2		・ブライダルヘア (表編み込み・裏編み込み・片編み込み・四つ編み)	・編み込みの展示と実習	
3		・ブライダルヘア (ヘアアイロン)	・フォワード、リバース巻きの展示と実習 ・板書と説明	
4		・ブライダルヘア (ヘアアイロン・フィッシュボーン)	・フォワード、リバース巻きの相モデル実習 ・フィッシュボーンの展示と実習	
5		・ブライダルヘア (アレンジヘア)	・波ウエーブの作り方の展示と実習 ・アレンジヘアの展示と実習	
6		・ブライダルヘア (アレンジヘア)	・アレンジヘアの展示と実習	
7		・ブライダルショー	・2年生施行のヘルプ、モデル	
8		・ブライダルショー	・2年生施行のヘルプ、モデル	
9		・ブライダルショー	・2年生施行のヘルプ、モデル	

10		・ブライダルショー	・2年生施行のヘルプ、モデル	
11		・ブライダルショー	・2年生施行のヘルプ、モデル	
12		・ブライダルショー	・リハーサル	
13		・ブライダルショー	・リハーサル	
14		・ブライダルショー	・リハーサル	
15		・ブライダルショー	・リハーサル	
16		・ブライダルショー	・ゲネプロ	
17		・ブライダルショー	・ゲネプロ	
18		・ブライダルショー	・施行	
19		・ブライダルショー	・施行	
20		・イメージメイク	・ナチュラルなイメージのブライダルメイクの実習	
21		・イメージメイク	・ナチュラルなイメージのブライダルメイクの実習	
22		・イメージメイク	・キュートなイメージのブライダルメイクの実習	
23		・イメージメイク	・キュートなイメージのブライダルメイクの実習	
24		・イメージメイク	・エレガントなイメージのブライダルメイクの実習	
25		・イメージメイク	・エレガントなイメージのブライダルメイクの実習	
26		・イメージメイク	・クールなイメージのブライダルメイクの実習	
27		・イメージメイク	・クールなイメージのブライダルメイクの実習	
28		・作品制作準備	・作品イメージの選定 ・モデル選定	
29		・作品制作準備	・作品イメージの選定 ・モデル選定	
30		・作品制作準備	・ドレスコーディネート	

31		・ 作品制作準備	・ ドレスコーディネート	
32		・ 作品制作準備	・ ヘアメイクデッサンの作成	
33		・ 作品制作準備	・ ヘアメイクデッサンの作成	
34		・ 作品制作準備	・ ドレス補整	
35		・ 作品制作準備	・ ドレス補整	
36		・ 作品制作準備	・ ヘアメイク練習	
37		・ 作品制作準備	・ ヘアメイク練習	
38		・ 作品制作準備	・ ヘアメイク練習	
39		・ 作品制作準備	・ ヘアメイク練習	
40		・ 作品制作	・ モデルへの施術	
41		・ 作品制作	・ モデルへの施術	
42		・ 作品制作	・ 撮影、アテンド	
43		・ 作品制作	・ 撮影、アテンド	
44		・ 作品制作	・ 作品画像選定 ・ 画像編集	
45		・ 作品制作	・ パワーポイントでプレゼン作成	
46		・ 作品制作	・ パワーポイントでプレゼン作成	
47		・ 作品制作	・ パワーポイントでプレゼン作成	
48		・ 作品制作	・ パワーポイントでプレゼン作成	
49		・ 作品発表	・ プレゼンテーション	
50		・ 作品発表	・ プレゼンテーション	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 6 年度 1 年生	科 目		授業方法	総授業時数
	フェイシャルエステティック I		実習	110 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期・後期 61 コマ		担当授業時数	122 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許	
学習の目的	1: フェイシャルエステティック技術の目的・効果を理解させ、サロンワークを行う上で必要な基本手技を習得する。 2:肌状態（肌質・肌悩み）を理解し、より効果的な技術の向上に努める。 3:フェイシャル機器の操作方法・禁忌事項を理解し肌状態（肌質：肌悩み）との適合性を学ぶ。 4:サロンワークを留意し、クライアントへの気配り・心遣いを身に付けさせ衛生にも考慮する。			
指導目標	1:フェイシャルエステティック技術の基本的な流れや1つ1つの目的、手法、効果について理解する。 2:フェイシャルエステティックに関する基礎的な知識を習得し、肌状態（肌質・肌悩み）に対応できる技術の習得に努める。			
指導の要点 及び留意点	1:フェイシャルマッサージの基本 6 手技を確実に習得する。 2:肌状態（肌質・肌悩み）とトリートメントの適用性と禁忌を理解する。 3: サロン業務で必要とされる細やかな心遣いと所作を身に付ける。			
評価の方法	技術評価・授業態度・出席状況の総合的評価			
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	新エステティック学 技術編 I	事前準備（ワゴンセッティング・ベットメイク・HOT タオル 衛生面・モデル誘導等基本作業）	*デモンストレーション *実習（相モデル）	
2		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り	*デモンストレーション *実習（相モデル）	
3		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	*デモンストレーション *実習（相モデル） *手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
4		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	*デモンストレーション *実習（相モデル） *手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	

5		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
6		クレンジング（ポイント・ベース） 拭き取り・HOT タオル	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
7		フェイシャルマッサージ 軽擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
8		フェイシャルマッサージ 軽擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
9		フェイシャルマッサージ 軽擦法・強擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
10		フェイシャルマッサージ 軽擦法・強擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
11		フェイシャルマッサージ 軽擦法・強擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
12		フェイシャルマッサージ 強擦法・揉擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
13		フェイシャルマッサージ 強擦法・揉擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
14		フェイシャルマッサージ 強擦法・揉擦法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	

15		フェイシャルマッサージ 揉捻法・打法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
16		フェイシャルマッサージ 揉捻法・打法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
17		フェイシャルマッサージ 振動法・圧迫	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
18		フェイシャルマッサージ 振動法・圧迫法	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認	
19		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
20		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
21		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
22		フェイシャルマッサージ 基本6手技	＊実習（相モデル） ＊手順、リズム、連続性、力加減、密着性など基本動作を確認 ＊トリートメント時間に留意する	
23		クレンジング（ブラシ） スチーマー	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊目的、効果、手順、禁忌の確認	
24		クレンジング（ブラシ） スチーマー	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊目的、効果、手順、禁忌の確認	
25		クレンジング（ブラシ） スチーマー	＊デモンストレーション ＊実習（相モデル） ＊目的、効果、手順、禁忌の確認	

26		パター（リンパドレナージュ） スチーマー	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
27		パター（リンパドレナージュ） スチーマー	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
28		パター（リンパドレナージュ） スチーマー	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
29		パター（リンパドレナージュ） スチーマー	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
30		パター（リンパドレナージュ） スチーマー	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
31		イオントフォレーゼ （イオン導入）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
32		イオントフォレーゼ （イオン導入）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
33		イオントフォレーゼ （イオン導入）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
34		イオントフォレーゼ （イオン導入）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
35		イオントフォレーゼ （イオン導入）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
36		サクション（吸引）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
37		サクション（吸引）	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
38		サクション（吸引） ペルチェ	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	
39		サクション（吸引） ペルチェ	*デモンストレーション *実習（相モデル） *目的、効果、手順、禁忌の確認	

40		個肌別 フェイシャルトリートメント①	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
41		個肌別 フェイシャルトリートメント②	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
42		個肌別 フェイシャルトリートメント③	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
43		個肌別 フェイシャルトリートメント④	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
44		個肌別 フェイシャルトリートメント⑤	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
45		個肌別 フェイシャルトリートメント⑥	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
46		個肌別 フェイシャルトリートメント⑦	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
47		個肌別 フェイシャルトリートメント⑧	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
48		個肌別 フェイシャルトリートメント⑨	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
49		個肌別 フェイシャルトリートメント⑩	*肌状態（肌質、肌悩み） 別トリートメント	
50		フェイシャル トータルトリートメント①	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
51		フェイシャル トータルトリートメント②	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
52		フェイシャルエステティック トータルトリートメント③	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
53		フェイシャルエステティック トータルトリートメント④	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
54		フェイシャルエステティック トータルトリートメント⑤	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
55		フェイシャルエステティック トータルトリートメント⑥	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
5 6		フェイシャルエステティック トータルトリートメント⑦	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	

57		フェイシャルエステティック トータルトリートメント⑧	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
58		フェイシャルエステティック トータルトリートメント⑨	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
59		フェイシャルエステティック トータルトリートメント⑩	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る	
60		フェイシャルエステティック トータルトリートメント	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
61		フェイシャルエステティック トータルトリートメント	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	
62		フェイシャルエステティック トータルトリートメント	*トリートメントプラン作成 *相モデル *タイムを計る *個人的課題の見直し	

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	インターンシップ	実習	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 前期 30 コマ	担当授業時数	60 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	ブライダル業務 8 年
学習の目的	店舗での実務、接客、社会人としての態度や礼節など実践的な職場感覚を体得することと同時に、社会人としての人間性を養い、将来の適性について考える機会を与える。		
指導目標	1. 習得した知識、技術をOJTとして実践させる。 2. 実務を通して、OJTの場で道具の使用方法、クライアントへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3. 実践的な技術を学び、改善点を見つけ就職活動に活かさせる。		
指 導 の 要 点 及び留意点	インターンシップの目的、心得を理解させ、実践的職場実習の経験をさせることで、より一層の職業意識を高めさせる。		
評価の方法	・実習店舗先による評価とレポートによる評価を合わせた総合評価		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
2	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
3	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
4	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
5	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
6	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
7	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
8	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
9	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	
10	業務日誌	・ 補助業務・接客 ・ 社会人としての態度、礼節	・ 企業での実務実習 ・ 日誌作成	

[illegible]

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和6年度 1年生	科 目	授業方法	総授業時数
	トータルコーディネート	※講義もしくは実習	60 時間
配当時間	1 コマ 90 分 33 コマ	担当授業時数	66 時間
実務経験のある 教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年
学習の目的	それぞれの技術習得に必要なスキルを学ぶ		
指導目標	様々な技術の復習を目指し練習を重ねる。		
指 導 の 要 点 及び留意点	各学生のレベルに合わせ、より細かな指導を行う。		
評価の方法	作品提出により評価 授業態度及び出席状況により判断		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学 習 活 動	評価等
1		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
2		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
3		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
4		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
5		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
6		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
7		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
8		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
9		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
10		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
11		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	

12.		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
13		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
14		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
15		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
16		理論の復習	プリントを活用し、目指す資格の理論を復習する。	
17		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
18		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
19		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
20		技術の復習	時間を設定し、タイム内に入るように練習を行う。	
21		・学園祭準備	・体験コーナー ・模擬店コーナー	
22		・学園祭準備	・体験コーナー ・模擬店コーナー	
23		・学園祭準備	・体験コーナー ・模擬店コーナー	
24		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
25		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
26		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
27		・学園祭	・体験施行 ・模擬店施行	
28		技術の復習	各授業の中で身に着けた技術を復習する	
29		技術の復習	各授業の中で身に着けた技術を復習する	
30		技術の復習	各授業の中で身に着けた技術を復習する	
31		技術の復習	各授業の中で身に着けた技術を復習する	
32		インターンシップに向けた指導	インターンシップの目的を理解させる	

33		インターンシップに向けた指導	各業界のリサーチを行う	
----	--	----------------	-------------	--